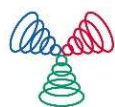


令和7年度 事業報告書



公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団

目次

1 経営概観	2
2 事業概要	5
3 事業一覧	23
(1)公益事業	23
横浜美術館	23
横浜みなとみらいホール	27
横浜能楽堂	31
横浜にぎわい座	32
横浜赤レンガ倉庫1号館	36
大佛次郎記念館	37
横浜市民ギャラリー	38
横浜市民ギャラリーあざみ野	40
経営企画・ACYグループ	43
(2)収益事業	44
4 データ集	45
5 施設利用状況	46
6 顧客満足度調査の概要	49
7 協賛・助成・寄附一覧	51
8 助成金交付実績	52
9 後援名義交付実績	52
10 法人の運営体制の充実を図るための取り組み	52
11 運営施設一覧	55
12 附属明細書	56

2030年へ向け
多様性に満ち、創造性あふれる横浜を目指して

中期経営計画2022-2025

- 事業方針1 誰もが文化芸術に触れることができる機会を広げます
事業方針2 文化芸術のある空間で、多様な人たちが過ごせる場を拓きます
事業方針3 文化芸術を通して対話の機会を広げ、多分野の担い手との共創を促進します
事業方針4 横浜の地域性を世界に開き、さまざまな文化との交流を促します
事業方針5 横浜固有の空間やネットワークを活かし、創造活動を行う人たちの挑戦を後押しします

経営基盤 ～財団の総合力を発揮し、5つの事業方針を推進する～

- 1 文化芸術を支える人材育成 2 総合力を生む組織運営 3 持続可能な経営 4 文化芸術の価値の発信

1 経営概観

令和7年度は、中期経営計画（2022-2025）の最終年度として、4年間の取り組みを総括するとともに、次期中期経営計画を策定する重要な年度となりました。各施設・グループの専門性と創造性を軸に、文化芸術を通じて多様な人々が共生し、新たな価値を創造し続ける都市・横浜の実現に向けた取り組みを進めました。各文化施設は専門性を活かし、アーティストや地域、企業等との連携・協働を推進しました。また、文化施設を市民の日常の居場所として定着させる試みや、次代を担う若年層へのアプローチに注力し、社会課題の解決に資する文化芸術の役割を示しました。さらに、採用・育成や法改正への対応、寄附制度の整備等を進め、経営基盤の強化を推進するとともに財団全体のガバナンスと総合力の向上に取り組みました。

(1)事業

ア 専門性を活かした文化施設の創造と発信

横浜美術館は、ミュージアム・メッセージ「みなとが、ひらく」のもと、まちに開かれた「じゅうエリア」の定着により、市民の日常に溶け込む新たな居場所としての機能を深化させました。「佐藤雅彦展 新しい×（作り方+分り方）」では、教育やデザインの視点から幅広い世代の知的好奇心を刺激。また「いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年」を開催し歴史的文脈を共有しつつ未来志向の対話を促進し、多文化共生という理念を鮮明に打ち出しました。

横浜みなとみらいホールは、第3代アーティストプロデューサーであるヴァイオリニストの石田泰尚の取り組みを軸に事業を展開しました。自身の初のプロデュース事業となる室内楽普及公演「サロンdeストリングス」や中高生を対象とした「弦楽合奏部応援プロジェクト」を実施し、学校での指導や自身が率いる弦楽合奏アンサンブル「石田組」との共演を通じて次世代育成を推進しました。また子どもと一緒に楽しめる企画や、障がいの有無にかかわらず楽しめるプログラムを通して、多様な参加機会を創出するとともに、地域、企業との連携など「音楽の街」としてのブランド価値向上に大きく寄与しました。

横浜能楽堂は、大規模改修期間中の拠点となるOTABISHO 横浜能楽堂にて、能楽を「知る・触れる」機会を創出。「18区つながる能楽プロジェクト」を市内8区で実施し、2年間に渡って全18区で展開しました。またSNSを活用した積極的な発信や、模型キットによる「能舞台を組み立てよう!」、ビジネスパーソン向け体験講座などにより、これまで古典芸能に馴染みのなかった層への認知拡大に努めました。鶴見区や港南区の地域の歴史などを題材にした公演などを展開するとともに、令和8年度の再開館に向けた「開館30周年記念事業」など企画立案を進めました。なお、OTABISHO横浜能楽堂は3月29日をもってクローズし、今年6月の再開館に向けて準備を進めています。

横浜にぎわい座は、横浜をテーマとした「名作落語の夕べ」シリーズ公演、独演会や二人会、若手演者育成公演など多彩な公演を実施したほか、「こども寄席」の開催、教育的な効果も狙いにしたワークショップを拡充するなど、観客層の裾野拡大にも取り組みました。また、令和8年度のリニューアルに向けて、2階「情報コーナー」の改修にも着手しました。大衆芸能の魅力を体感できる常設展示を設置し、学びと発見の場としての機能を高めていきます。

横浜赤レンガ倉庫1号館は、31回目となる「ヨコハマダンスコレクション」を中心に、国内外のアーティストが交差するダンスの創造拠点としての機能の強化に取り組み、次代の才能育成と国際ネットワークの形成を推進しました。また横浜を拠点とした創造、上演、普及、アーカイブの4つの取り組みを行う振付家制度の2代目となる小尻健太は、2年間の活動の集大成として新作発表および制作プロセスの公開や育成プログラムを展開し、任期を締めくくりました。観光拠点としての立地を活かし、賑わいをつくる様々な事業を通じて来街者が日常的にアートに触れる機会の創出にも寄与しました。

大佛次郎記念館は、地域や近隣施設との連携により、文学館の垣根を越える事業を展開しました。＜旅＞や＜手紙＞がキーワードの1つとなった展示「藤井健司×大佛次郎『帰郷 Homecoming』」では、地元郵便局と連携した風景印企画を展開。また、大佛の実兄である野尻抱影の生誕140年記念となる展示「星の文人 野尻抱影の宇宙」では、平塚市博物館と協働した観望会を開催するなど、大佛文学に触れる機会を創出しました。

横浜市民ギャラリーは、開館60周年の成果を継承し、市民の創作・発表活動を支える活動に注力しました。60周年を迎える「横浜市こどもの美術展」では、「たからもの」をテーマに、次世代育成の象徴的事業として開催。「新・今日の作家展」では対談の開催や作家インタビューの公開により鑑賞体験の充実を図りました。「コレクション展2026」では、所蔵作品を通じて戦後横浜の歩みを再考し、「収集・保存」の成果を戦後80年という現代的視点に接続し、市民と共有しました。

横浜市民ギャラリーあざみ野は、開館20周年を機に市民と共に文化施設のあり方を考えるワークショップ「表現と生活をめぐる」を実施しました。地域課題と文化芸術が交わることで生まれる価値を探り、その成果を記録集としてまとめ、今後の協働の方向性を示しました。また、カメラ・写真を扱う小学校アウトリーチでは、子どもたちが「まちのかたち」をテーマに撮影・編集したZINE「とことこ調査団」を制作し、商店や施設に届けました。観察力や表現力を育むとともに、地域との対話を生む機会となりました。やさしい美術鑑賞は地域へ広げるためにガイドラインを作成、仕組みづくりを始めています。今年度から有料化した企画展も好評でした。20年の蓄積を基に、地域に開かれた創造拠点として新たな段階へ進みました。

イ 多様な分野の担い手と創る都市の魅力

アーツコミッション・ヨコハマ (ACY)では、アーティストのキャリア形成と地域コミュニティとの繋がり構築を支援するプログラムとなる「ACYアーティスト・フェローシップ助成」を通して、アーティストの文化芸術活動を起点とした地域の新たな資源・魅力の発見や、持続的なネットワーク形成を推進しました。また拠点間ネットワークの形成を目的に「創造的・コミュニティ拠点調査」を実施。市内の民設民営施設における創造的活動の実態を把握することで、次なる施策展開に向けた基盤整備に取り組みしました。

横浜ジャズプロムナードは、横浜で初めてジャズが演奏されてから100年となる節目の年を捉え、歴史の継承と次代への展望を軸に展開。ジャズバージョンにアレンジした市歌の発表や、特別企画「昭和100年のジャズ」では戦後文化を牽引したジャズの歩みをホールライブ形式で再現。また横浜市のパートナー都市となる台北市とフランクフルト市から新進気鋭のバンドを招聘し、ジャズによる文化交流に取り組みしました。また公共空間を活用したライブや回遊型パレードを実施し、市民とともに文化芸術の浸透を図り、賑わいを創出しました。

(2)経営基盤

ア 人材育成

「人材マネジメントポリシー」の後期育成プランに基づき、定期採用を継続し、年齢構成における若手層の充実を図りました。階層別研修や美術・舞台芸術分野の専門研修を実施し、職員の専門性向上と組織力の強化を推進しました。新採用職員に対しては、業務理解の促進と職場定着を支援しました。また、給与制度の課題解消と職員のモチベーション向上を図るため、新たな制度設計について次年度から本格的に調整を進める体制を整えました。

イ 総合力を生む組織運営

働き方改革や法改正に伴い複雑化する労務管理に対応するため、人事・就労・給与システムを更新し、雇用・労務管理の効率化と精度向上を図りました。また、災害時の組織的対応力の向上を図るため、全職員を対象に安否確認ツールを導入し、情報伝達訓練を実施しました。さらに、事務局と各施設が一体となって取り組みを推進し、組織全体の連携を強化することで、経営の継続性と安定性を支える基盤づくりを進めました。

ウ 持続可能な経営

将来にわたる財源の多角化・多様化を目指し、遺贈寄附の受け入れなど寄附制度の規定や運用マニュアルを整備しました。また、外部資金の獲得に向け助成金情報等を各施設へ適宜共有し、組織全体での活用を促進しました。「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の改正に対応し、公益充実資金の積立に関する規程を整備するとともに、適切な資金管理のもとで積立・活用する体制を構築しました。これにより、公益目的事業を安定的に実施するための財源基盤を強化しました。

エ 文化芸術の価値の発信

財団のミッション・ビジョン・バリューを基軸に、ウェブサイトを更新しました。財団の活動を「創る・支える・育む・集める・残す」の5つの動詞で捉え直し、親しみやすい言葉で発信することで、文化芸術の価値を身近なものとして可視化しました。また、地域メディアとの連携を通じて各施設の魅力を市民の日常に届けるなど広報を強化し、市民の関心を高めることで、文化芸術に触れる機会の拡大を図りました。

2 事業概要

中期経営計画2022-2025の事業方針に添って主な事業を紹介します。

横浜美術館



横浜美術館 撮影:新津保建秀

リニューアルオープン後、初めて通年での稼働となりました。リニューアルオープン記念展として「おかえり、ヨコハマ」「佐藤雅彦展 新しい×（作り方+分かり方）」「いつもとにりにいるから 日本と韓国、アートの80年」を開催し、横浜美術館の魅力や役割が、市民や来館者の皆様により一層広がりました。また、アクセシビリティに関する取り組みや学校等と連携したアトリエプログラムなども実施し、だれもが楽しめるひらかれた美術館としての運営を推進しました。じゅうエリアをはじめとした館内各所では、来館者が思い思いに過ごす姿が見られ、新しい美術館の雰囲気を形づくっています。

横浜美術館リニューアルオープン記念展 佐藤雅彦展 新しい×（作り方+分かり方）【方針1】

ねらい

リニューアル後の企画展実施にあたって設定した観点のうち「テーマやジャンルの多様性」「幅広い層への訴求」を念頭に置きながら、当館の企画展の新機軸を打ち出すことを目指す。

内容

CMをはじめとする広告、TV番組、著書、ゲームなど、さまざまなメディアを通じて発信される斬新かつ親しみやすいコンテンツを一堂に紹介し、その40年にわたる創作活動を概観する。

参加者の声

- ・本当に素晴らしかったです！来てよかったです。企画展はもちろん、美術館自体も楽しくて仕方がありませんでした。もっとたくさん通わなきゃなあと感じました。（館内アンケートより）
- ・どの作品も興味深く、沢山頭と心、その他五感を使えて楽しかったです。計算のコーナーも楽しめました。自分の持っている感覚をフルに使うことは楽しいですね！（館内アンケートより）
- ・美術館の雰囲気と佐藤雅彦の作風がとてもマッチしてた。（SNSより）

担当職員の視点

極めて高い知名度と人気を誇るコンテンツの展示ゆえ、一定の集客は予想されていたが、27万人を超える来場者数に加え、子どもに留まらない来場者層の多様さ、前例のない初来館率の高さなど、あらゆる面で当初の想定を超える結果となった。日常生活に密着した「デザイン」分野を主軸とした展示内容、鑑賞者に能動的思考を促す展示趣旨は、当館のこれまでの企画展とは一線を画したものであり、内容面でも、新しい鑑賞体験を提供できた。「来館者ひとりひとりが、よりよい生を生きるための力をチャージする」という、当館のリニューアルにあたっての蔵屋館長の所信表明の趣旨を体現する展覧会だったと感じる。（松永、飯岡）



撮影: 竹久直樹

横浜美術館リニューアルオープン記念展

いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年 【方針1,4】

ねらい

日本、韓国、在日コリアンの作品を一堂に展覧し、それぞれの歴史や関係性をわかりやすく示すことで、互いの姿をあたらしく発見し、差別や偏見のない社会の実現に寄与することを目指す。

内容

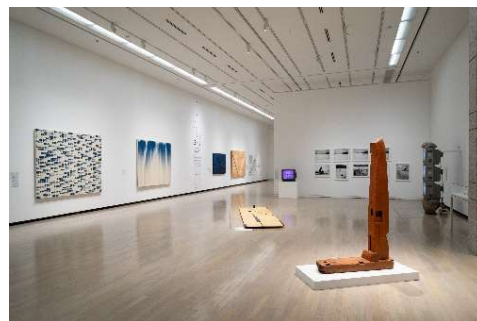
韓国の国立現代美術館との共同により、1945年から今日に至るまでの日韓現代美術の関係史を紐解く、国際的にも初の大規模展覧会。50組以上の作家による約160点の作品を展覧。

参加者の声

- ・とてもよかった。自分が生きている間にこれほどの展覧会が見られるとは思っていませんでした。ありがとう、また来ます（看視日報より）
- ・これまで日本社会においてある意味「見えない存在」とされてきた在日コリアンを、アートという切り口で、かつ公立の美術館で取り上げた点において、非常に画期的な試みであったと感じました（来場者アンケートより）
- ・戦後の日韓の関係性を丁寧に紐解きながら、文化交流によって育まれてきた日韓美術史の成果を一望できる素晴らしいキュレーション（SNSより）

担当職員の視点

Kカルチャーの興隆により日本における韓国への関心が高まる中、本企画は時宜をとらえて非常に好意的に受け入れられ、会期を通して熱い感想が寄せられた。来場者数も、当初の目標を1万人ほど上回る結果となった。また、日韓のはざまで常にこぼれおちてきた在日コリアンにも焦点をあてることで、単純な国家の枠組みからはみえてこなかった両国の関係性を示すことができたと同時に、日本社会におけるマイノリティへの理解促進に繋がったと感じる。そして、横浜美術館がリニューアルオープンの理念として掲げた「多様性」を、企画展を通して表現することができた。（日比野、大澤）



展示風景（撮影：加藤健）

さまざまな方が安心して美術館を楽しむための取り組み（アクセシビリティ向上）【方針1,2】

ねらい

ミュージアムメッセージ「みなとが、ひらく」の理念に基づき、美術に関心を持つさまざまな人が心的バリアを感じることなく参加できる社会包摂プログラムや環境整備を行う。

内容

英語・手話通訳付のギャラリートーク、障がいのある人となない人とが共に楽しむ鑑賞会、のびのび造形じかん等アクセスプログラムの実施。カームダウン・クールダウンスペースの設置等。

参加者の声

- ・作品の見方が深まった。普段見えている世界や経験が全く異なる皆さんと対話でき、温かい気持ちになった。（「ことばで一緒にみる鑑賞会」参加者）
- ・家にいながら作品鑑賞ができるリラックス感に惹かれて参加した。/ 想像以上に活発に意見が出て、他の方の見方を知ることができて楽しかった。（「オンライン鑑賞会」参加者）
- ・カームダウン・クールダウンスペースがあることで、誰が来ても良いというメッセージとなり、美術館を訪れる敷居が低くなると思う。（特別支援学校教諭）

担当職員の視点

アクセスプログラムとして、障がいや言語、年齢にかかわらず誰もが参加できる事業を新たに開始。これまで何らかの理由により美術館を訪れることを選択できなかった方が、プログラムを機に初めて当館を訪れ、「よい時間を過ごせた」「また来たい」と感想を寄せてくださった。実施にあたっては、参加者をはじめとした障がい当事者の声や、福祉の専門家であるアクセスアドバイザーから受けた助言を生かし、改善を図るサイクルをつくり出すことができた。館としての「ひらく」姿勢がさまざまな立場の方の声を集める仕組みとなり、多様な人が気軽に訪れるきっかけとなる場を創出できた。（河上、古藤、瀧口）



「ことばで一緒にみる鑑賞会」の様子 撮影：加藤南

横浜みなとみらいホール



©平館平

令和7年度は、第3代プロデューサー石田泰尚を迎え、「横浜の地域性」と「取り組みの発展」をテーマに飛躍の年となりました。オルガン協奏曲発信プロジェクトでは、横浜の文化資源とも言えるパイプオルガンの新たな魅力や可能性を開拓。次世代育成では、石田プロデューサーが市内中学・高校を直接訪れ、若者の音楽への関心・ホールと地域の結びつきを促進しました。社会包摂事業では、他都市へのノウハウ提供など共生社会を先導するホールとして認知を高めました。独自性・創造性と多様な市民に寄り添う包摂性・公共性を両立させ、横浜の音楽文化拠点として存在感を発揮しました。

プロデューサー in レジデンス 石田泰尚（ヴァイオリニスト）第Ⅰ期 【方針1,3】

ねらい

横浜みなとみらいホール第3代プロデューサーに、当館に縁の深い石田泰尚が就任。ホールの「顔」として公演や次世代育成の活動を行い、横浜発の文化発信を印象づける。

内容

「石田組年末感謝祭」（創造発信）、「弦楽合奏部応援プロジェクト」（次世代育成）、「サロン de スtrings」（室内楽普及）、「石田泰尚&石井琢磨リサイタル」（創造発信）

参加者の声

- ・メタモルフォーゼンのように初めて聴く曲、知らなかった曲を聴けることも石田組が大好きな理由のひとつです。この二日間で新しい扉をまた開きました。（年末感謝祭来場者）
- ・中学・高校との演奏がとても良かったです！横浜の子供たちに夢を与える活動は、すごく応援できます。石田組やみなとみらいホールを身近に感じます！！（弦楽合奏部来場者）
- ・今回の企画は室内楽の楽しさを存分に味わうことができました。1時間という短い時間でも満足度はとても高いです。また素敵な企画を期待しています。（室内楽来場者）

担当職員の視点

「年末感謝祭」では大戦の惨禍を描いた大曲「メタモルフォーゼン」を戦後80年にあわせ秀逸な演奏を披露。新曲委嘱作品「海のディベルティメント」の初演と合わせ、「石田組の拠点」としての横浜みなとみらいホールの存在感を印象づけた。また、「弦楽合奏部」では、一般の中高生を対象に8回の指導を実施。プロとの共演を経て、音楽の感動の力を学生一人ひとりが感じ、彼らが成長したのちも生涯にわたり記憶される経験を作った。また、室内楽ファンを醸成する「サロン de スtrings」や「石田&石井」公演等も、ほぼ満員の完売公演となり、室内楽ファンの育成に寄与した。（菊地）



撮影：藤本史昭

阿部加奈子 指揮/作曲 横浜みなとみらいホール特別演奏会 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ～オルガン“LUCY”プロジェクト～ 【方針1,3,4,5】

ねらい

パイプオルガンの歴史的土壌がある横浜から、欧州で活躍する阿部加奈子に新曲を委嘱。サンスーンズに比肩する新たなオルガン協奏曲の世界初演と独自の創造事業を目指す。

内容

阿部加奈子指揮、近藤岳のオルガン、神奈川フィルによる特別演奏会。委嘱新作「風の睦び」を世界初演。特別支援学校向け公開リハーサルや文化庁子供舞台芸術鑑賞支援事業も展開。

参加者の声

- ・委嘱新作『風の睦び』に感動しました。繊細な音から大迫力まで、オルガンの魅力をエキサイティングに体験でき、ぜひ再演してほしい名作だと感じました。（来場者）
- ・子供舞台芸術鑑賞支援により親子で貴重な体験ができました。無料招待で鑑賞の裾野が広がるのは、子供の情操教育にとっても非常に素晴らしい取り組みです。（来場者）
- ・指揮者の位置説明等の配慮があり、声出し等で鑑賞を諦めていた親子も生の響きを楽しめました。家族で感動を共有でき、幸せで貴重な時間となりました。（支援学級来場者）

担当職員の視点

ホールの象徴であるオルガンを軸に、欧州拠点の阿部との対話から生まれた新作を世界へ発信。横浜の地域性を活かした独自の創造事業を実現した。また、特別支援学校向け公開リハーサルや子供招待により、障がいの有無や世代を超え、誰もが「本物」に触れられる場を創出した点は、社会包摂を推進するホールとして大きな成果である。集客面では多角的な販路や助成活用により当初予算を上回る成果を収め、オーケストラとの緊密な連携で成功に導いた。本公演は未来への投資であり、今後もネットワークを活かした再演や共生社会への貢献を継続したい。（中村）



撮影：藤本史昭

ミュージック・イン・ザ・ダーク®～闇に響く音～ 【方針2,3】

ねらい

障がいの有無に関わらず、鑑賞者・演奏者・スタッフ等関わる人々と共に共生社会への理解を促進する。視覚に障がいのある人が安心して来館できる機会を提供する。

内容

視覚に障がいのある演奏家と障がいのない演奏家によるアンサンブルが照明を落とした空間で演奏し、ステージと客席が視覚以外の感覚を通じ音楽を享受するコンサート。

参加者の声

- ・視覚障がいの方の感じ方に共感出来る工夫や、会場の広さを音で表わしたり、出演者の服装の説明したりなど、配慮を感じた。（来場者）
- ・照明を落とすことで視覚情報が遮断され、普段の演奏会よりも音が研ぎ澄まされ、音楽を全身で聴いているような新鮮な感覚を覚えた。（来場者）
- ・「何かをしてあげる」ではなく、暗闇という共通空間で純粋に音楽の素晴らしさを届けるコンセプトが伝わっていることに意義を感じています。（出演者）

担当職員の視点

共生社会の実現を目的とした公演でありながら、「照明を落とした空間で鑑賞する」唯一無二の体験が魅力となり、視覚に障がいのない観客からも支持を得ている。特定の人に偏らない体験の質の高さが、誰もが心地よく音楽を分かち合える本質となっている。「視覚に頼らず音楽を味わう」体験は、自然に視覚障がいのある方の感覚に触れる機会となり、来場者に新たな気づきをもたらした。公演には当事者の来場も多く、研修が活かされ、サポートツールにも需要があった。今年度は他県のホールへの知見共有にも取り組んだが、今後も当事者意見を反映し、ノウハウの蓄積・共有に努めたい。（藤井）



撮影：藤本史昭

横浜能楽堂



大規模改修に伴う休館中のため、今年度も市内各所で事業を実施しました。区民文化センターなどを会場とした公演、市内の文化施設や福祉施設と連携した講座やワークショップなど、地域の状況やニーズ、歴史などをリサーチしてプログラムを組み立てました。また、財団の専門性を活かした施設連携も行い、幅広い方に能・狂言をはじめ古典芸能の魅力を知っていただく機会を提供しました。休館中の拠点であるOTABISHO 横浜能楽堂では、能面や能装束などの展示や体験講座などを数多く実施し、これまで能・狂言に触れることの少なかった方たちに関心をもってもらえることができました。

横浜能楽堂企画公演 「遊行の聖 弔いの心」 【方針5】

ねらい

鎌倉仏教のひとつであり、横浜にもゆかりの深い時宗と能・狂言との関係に着目し、両者の根底にある「弔いの心」をテーマとした公演を実施。能・狂言の魅力を新たな視点から伝える。

内容

遊行上人が平家の武将・実盛の霊を鎮めたとの巷談をもとに作られた能「実盛」を横浜在住の能楽師・山井綱雄により上演。併せて実盛の供養の際に営まれたとされる「薄念仏会」を時宗法式声明研究所の出演により上演した。

参加者の声

- ・時宗を軸にした好企画。笹名号が見守る舞台上、語「文蔵」に感心し、「薄念仏会」に圧倒され、能「実盛」に深いカタルシスを覚えた。
- ・あらすじや見どころなどを調べてから鑑賞に臨みましたが、実際の舞台はアタマではなく心が震えるものなのだと知りました。
- ・念仏を聴くという貴重な機会を得られたことが良かった。その後の能も、それまでの念仏に思いを馳せながらの鑑賞となり、より深いものとなった。

担当職員の視点

神奈川県を代表する古刹である時宗の総本山・遊行寺と連携し、ランドマークホールにて公演を実施。敢えて能舞台を設置せず、蝋燭灯りで舞台を照らすなど、会場の特性と公演内容に合わせた演出により、時宗と能・狂言との関わりが強く感じられるプログラムを上演した。公演内容を深く理解してもらうため、事前に「薄念仏会」についての解説動画を配信、また上演時に多言語による字幕解説の配信を行った。来場者は能楽ファンが中心で、アンケートでは公演内容に対して満足度が特に高いものとなり、能・狂言の魅力だけでなく、横浜の歴史や地元ゆかりの寺院との関わりを伝える機会を提供できた。（早見）



撮影：尾形美砂子

講座「能の身体 ダンスの身体」 【方針5】

ねらい

横浜赤レンガ倉庫1号館と連携し、当財団が持つ専門性を発揮する事業を展開。各専門分野の比較をすることで舞台芸術の愛好者が相互に楽しめる機会を提供する。

内容

能楽師とダンサーがそれぞれの身体性について、デモンストレーションを交え、成立の過程や表現手法の違いなどを話し合った。聴講者も身体を動かし、その違いを追求した。

参加者の声

- ・コンテンポラリーダンスと能が大好きなので、最高の時間でした！能の体の動かし方について詳しいお話をきく機会はなかなかなく、とても興味深かったです。
- ・動きを支える仕組みを言葉で伝えて頂き、今後より深く鑑賞できるようになると思いました。かつてお稽古していた謡と仕舞を、もう一度お稽古してみたいと思います。
- ・マニアックなテーマと思いましたが、これだけ集客できることも驚きましたし、嬉しく思いました。各所で同様の企画をできるかもしれないと期待もふくらみました。

担当職員の視点

普段は身体性の観点から語られることの少ない能をコンテンポラリーダンスとの比較によって、新たな視点を拓く機会を創出した。それぞれの身体性を「呼吸」「型」といった要素ごとに整理し、幼いころからキャリアを積み重ねてきた同世代のアーティストによる実体験をもとにした対話を展開。舞台芸術専門のファシリテーターによる進行もあり、分野に馴染みのない来場者にも理解しやすい構成となり、各分野の愛好者のみならず舞台芸術全般に関心を持つ層へも訴求することができた。また、当財団が運営する施設の共創事業として、それぞれの施設の専門性をシェアし、制作を進めることで、さらにその専門性を磨く機会となった。（佐藤）



撮影：大野隆介

バリアフリー事業（バリアフリー能楽ワークショップ／バリアフリー能サポート研究会） 【方針1】

ねらい

休館中も「バリアフリー能」で培ってきたノウハウを活かし、障がいのある方にも能楽を体験できる機会を提供する。また「バリアフリー能」の課題を解決するため研究会を開催し、再開館後のよりよいサポートを目指す。

内容

市内の福祉施設・学校と連携し、すり足・謡、また楽器を体験するワークショップの開催と、メンバーに外部有識者を交えた研究会を開催した。研究会では、音声ガイドを実際に作成、当事者からの意見を基に修正する中で、音声ガイドの方針の作成、事例の蓄積を行い、今後の指針とした。

参加者の声

- ・貴重な体験ありがとうございます。先生との鼓の音色のちがいに驚きました。実際の能楽堂を訪れたいです。（ワークショップ参加者）
- ・「音声ガイド」という枠にとどまらず、視覚障がいの方に何かを説明する際の言葉の選び方や順序、考え方について学びが多かったと思います。（研究会参加者）
- ・言葉遣いや言葉の時制など、細かい工夫点を学ぶことが出来てとても有意義だった。それぞれの専門家が関わったことで、様々な角度から気づきを得ることが出来た。（研究会参加者）

担当職員の視点

福祉施設や学校で、能楽堂にお越しになりにくい層の方々へのワークショップ開催によりも能楽を楽しんでいただけた。今後も継続して取り組み、障がいのある方にも能楽に親しんでもらいたい。研究会では、音声ガイドの作成について外部有識者、当事者、財団職員と意見を交換する中で、多くの気づきがあった。これらの知見は、音声ガイド作成のみならず、今後のインクルーシブ事業にも活かしていきたい。本事業は再開館後のよりよいサポートを考える貴重な取り組みとなった。（秦野、横田）



横浜にぎわい座



「横浜」にちなんだ演目をそろえて開催した「横浜愛 名作落語の夕べ」のほか、若手からベテランまでバラエティに富む出演者による独演会、真打昇進披露公演、趣味をテーマにした演芸会、寄席公演など245公演を開催し、大衆芸能の多彩な魅力を紹介しました。こども寄席やワークショップ、学校や福祉施設等へのアウトリーチなども行い、次世代育成とともに、様々な人が大衆芸能に触れられる機会を広げることに努めました。また、2階情報コーナーの改修に着手し、令和8年度のリニューアルに向けて、公演にとどまらず大衆芸能の魅力にいつでも触れられる場をつくる準備も進めました。

「横浜愛 名作落語の夕べ」シリーズ4公演 【方針4】

ねらい

質の高い古典落語をじっくり楽しめる機会を提供する。毎年、様々なテーマ設定により演目を選定することで、身近な切り口から落語に親しめる機会を広げる。

内容

実力派の演者により、古典落語の名作を上演するシリーズ公演。今年度は横浜ゆかりの演目をそろえ、大衆芸能を通して横浜の歴史や魅力に改めて触れられる機会とした。

参加者の声

- ・横浜にぎわい座の緞帳にちなんだ演目、楽しみました。名作落語は、いつも興味深いテーマ、内容で楽しみにしています。（4/10鑑賞者）
- ・神奈川宿ゆかりの大ネタをたっぷり堪能した。白酒さんはとても心地よく、生志さんの話術の巧みさは見事。この二人は安心感がある。（7/5鑑賞者）
- ・「強情灸」この有名なネタが、横浜が舞台とは知りませんでした。「茄子娘」は初めてきました。小せんさんらしく上品で良かった。（11/8鑑賞者）

担当職員の視点

文明開化や大道芸など、横浜にぎわい座の緞帳に描かれたモチーフにかかわる演目、神奈川宿や横浜が舞台となっている演目、かつて興行街として栄えた伊勢佐木町にあった芝居小屋・見世物等にちなんだ演目など、横浜ゆかりのさまざまな演目をそろえて開催した。来場者からは「毎回楽しみにしている」という声もきかれ、当事業が名物公演として定着していることがうかがわれた。また、今年度は「横浜」という広いテーマ設定にしたことで、初心者から愛好家までが、新たな切り口から落語に親しんだり、横浜の知らなかった一面を新たに知る機会にもつなげることができた。（遠山）



「横浜愛 名作落語の夕べ」シリーズ4公演 ～その1（入船亭扇遊）

登竜門シリーズ in のげシャレー 【方針5】

ねらい

出演機会が少ない二ツ目から若手真打に芸を披露し経験を積む場と、研鑽と飛躍の機会を提供し若手演者を支援する。また若手演者につく若年層ファンの開拓と育成に寄与する。

内容

若手芸人のチャレンジの場として、芸能ホールでの独演会開催へのステップアップを目指すシリーズ。独創性のある企画・ネタにチャレンジできるため研鑽の場となっている。

参加者の声

- ・吉笑さんの若い力が素晴らしいです。近くで見られるのが「のげシャレー」の良さです。演者と距離が近くていい雰囲気でした。（4/23「立川吉笑横浜ひとり会」鑑賞者）
- ・「お見立て」。ますます上手になっていて、すっかりご自身のネタになりましたね。これからも応援しています。（11/22「鈴々舎美馬 横浜独演会」鑑賞者）
- ・二人の節回しや熱のこもった謡、曲師の演奏を堪能しました。演目もとても良く話の世界に引き込まれました。（12/20「国本はる乃・真山隼人二人会」鑑賞者）

担当職員の視点

ここ数年で、複数の演者が「登竜門シリーズ」を卒業し、芸能ホールで継続的に独演会を開催するなど目覚ましい活躍を見せている。複数演者の卒業に伴い、春風亭一花・神田伊織・桃月庵黒酒・柳家小ふね・鈴々舎美馬の5名の若手実力派が新たに加わり、落語だけでなく講談からも発掘し次世代育成を推し進めた。「登竜門シリーズ」は複数年に渡り演者の挑戦を支援しており、観客も長い時間をかけて演者の成長を見守り、関係を築き、芸への理解を深めていくことで根強いファンの獲得・育成に繋がっている。更に、卒業者の独演会では、二ツ目出演枠を設けている会も多く、若手育成の良い流れを生んでいる。（梅澤）



登竜門シリーズ「鈴々舎美馬 横浜独演会」鈴々舎美馬

バックステージツアー、ワークショップ 【方針1】

ねらい

寄席の舞台裏見学や体験、プロの演者による実技指導など、公演鑑賞にとどまらない多様な取り組みを通して、子どもたちが大衆芸能に多面的に親しめる機会を創出する。

内容

バックステージツアーは、舞台裏の解説や演者による実演などを体験する機会として実施。ワークショップは、4つの異なる芸種で開講。芸種別に対象を定めて開催した。

参加者の声

- ・親子で楽しめる演目で、バックステージツアーも太鼓の音にも意味があることがわかりとても貴重な体験ができました。（「春のこども寄席」バックステージツアー参加者）
- ・話の仕方、もののみせ方などマジックだけに通じること以外も教えてくれたため、とても役にたった。来て本当に良かったです！（「マジック体験講座」参加の小学生）
- ・マジックはテクニックだけではだめで、見せ方（お客様を楽しませる）を工夫することが大切と教えていただいたこと。とても良かったと思います。（「マジック体験講座」参加者同伴の保護者）

担当職員の視点

「こども寄席」関連企画のバックステージツアーでは、小学生以下の子どもを含む家族・親子の参加が多く見られた。舞台裏の解説に加えて、太鼓の実演なども行うことで、公演鑑賞とは異なる視点から大衆芸能や寄席文化に触れられる機会となった。ワークショップのうち小学生対象の「マジック体験講座」では、技術の習得だけではなく、表現や見せ方を工夫する過程も重視したことにより、子どもたちの創造性を育めた。マジックをきっかけに学年の異なる子ども同士の交流も促され、学校以外の環境で主体的に関わる機会にもなっていた。今後も様々な切り口から大衆芸能に触れられる機会を広げたい。（今野）



「マジック体験講座」（講師：小泉ボロン）

横浜赤レンガ倉庫1号館



国内外の文化拠点やつくり手、企業や地域と連携し、ダンスをはじめ舞台芸術の拠点としてユニークなプログラムを展開。31回目となるヨコハマダンスコレクション2025では複眼的な視点を持ち、グローバルに活躍する振付家やクリエイターの作品を上演。また上演のみならず、アーティスト主体のワークショップやトークなどひらいた活動を行うことで新たな視点や解釈、楽しみ方を提示することができました。アートリンクでは横浜拠点のプロスポーツチームや当館振付家の小尻健太などと連携して子ども向けワークショップを実施するなど、交流や協働の機会を広げました。

ヨコハマダンスコレクション2025 【方針3,5】

ねらい

コンテンポラリーダンスの発展とつくり手の発掘・支援を目指し多様なダンス拠点やネットワークとの連携・協働を強化、舞台芸術分野の独創性と発信性を備えたプログラムを展開する。

内容

「ダンスの現在地」をテーマに17日間で全25作品を上演。またプラットフォーム機能を高めるため、対話・交流プログラムを展開し新たな視点や解釈、楽しみ方を提示した。

参加者の声

- ・抽象的だけど、確実にあるもの。確実に存在する不確定なもの。そうした事柄を何とか表出しようと、己の精神と肉体に向き合っている皆様に、心から感動しました。（コンペティションⅡ 来場者アンケートより）
- ・刺激的で迫力があって圧倒されました。西欧の個を主体としたダンスではなく、アジアの和の思想が形になったダンスと感じました。まだまだ未踏の表現ってあるんだなと。（WAVES 来場者アンケート）
- ・今回のダンコレでの作品創作を通じ、上演自体を充実させることはもちろん、上演以外も含めた活動のサイクルを身をもって実践することができました。（福永将也）
- ・久しぶりにのげシャレーで踊り、「ああ帰ってきたな」って感じがしました。ゲネがうまくいかなかったくらいで大号泣していた大学生の頃のコンペⅡを思い出します。私の原点のような場所です。（大森瑤子）

担当職員の視点

31回目の開催となる今回はメディアアートとのコラボレーション作品や、日本・香港を拠点に活動するアーティストの共同作品など、独自の身体表現と先鋭的なアートの融合によって領域を横断した新たな共創を促進した。また作品上演のみならず、ワークショップやトークを企画し、ウェブマガジンなどをおしてコンテンポラリーダンスという表現に様々な角度から光を当てることで、新たな視点や解釈、楽しみ方を提示し対話の機会を広げた。また横浜市内の文化芸術拠点や企業・団体と連携した取り組みにより、地域との繋がりをさらに豊かにする様々な活動を展開する事ができた。（中祖、大野）



Photo: 菅原康太

アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫 【方針1】

ねらい

アートとスケートリンクのコラボレーションで冬の賑わいを創出。また地域のプロスポーツチームなどと連携するなど、地域での共創を通じ文化芸術に触れる機会を広げる。

内容

アーティストに東 春予を招き、漫画表現を用いた都市的なモチーフと、速度感のある描写によるアートワークで壁面を彩り、気軽にアートを楽しめる環境を創出する。

参加者の声

- ・最初はガクブルだったけど、少ししたら何となく滑り方分かってきてスイスイで気持ちよかった！！（来場者）
- ・アートリンクが21年の長い時間の中で多くの方に親しまれていること、その流れの中で作品をご覧いただけたことを実感いたしました。（アーティスト）

担当職員の視点

21回目の開催となる今回は、東 春予によるアートワークに加え、アートワーク内に使用されるタイポグラフィデザインにRen Morita、特別BGMにDrearnersを起用する等、アーティスト間のコラボレーションが特徴的だった。都市的なモチーフが文字や楽曲と重なることで、赤レンガ倉庫イベント広場が、人々が行き交う都市公園であることを、象徴的に表現することができた。またオリンピックの宮原知子によるスケート教室、横浜GRITSによるホッケー教室やデモンストレーション開催などを通じ、様々な形でアイススケートに親しむ場を設け、計6万人を超える来場者を楽しんでいただき、街の賑わいに寄与した。（坂口、小野）



Photo: 大野隆介

横浜赤レンガ倉庫1号館振付家制度 小尻健太 【方針3,5】

ねらい

横浜を拠点とした創造、上演、普及、地域連携、アーカイブなど多岐に渡る活動を繰り広げ、対話交流を深めながら文化芸術の新たな価値を広い世代と共有する。

内容

小尻健太の振付家制度2年目の活動。創作のテーマに基づき多様な領域のクリエイターと協働して横浜などでのリサーチを行い、創作過程を公開し対話する機会を共有するなどのプロセスを経て新作を上演。また振付と照明に焦点をあてたラボを開催した。

参加者の声

- ・SandD小尻健太さんの公演を横浜で観ることができて感激しています。一般人でも参加できる事前イベントと、国際交流基金のレポートの助けを得て、ダンサーの方々の動きに潜む記憶と今、装置とダンサーの相互作用を念頭に置きつつ拝見しました。（中略）根底に感じられる優しく清らかで大きな雰囲気のおかげで、安心してこの揺らぎに身を委ねることができたように思います。（来場者）
- ・考えていることを言語化する機会となった。振付家の孤独をどうすれば伝わるかということがわかった。ラボは実験しよう！と思ってできる場であり、照明家という存在がいて自分を客観視することができた（SandDラボ参加者）

担当職員の視点

新作上演に向けて、三溪園でのフィールドワークなど横浜を拠点に国内外の各地でリサーチを行い、創作過程をオープンスタジオで公開した。プロ向けから一般向けまで誰もが参加できるワークショップの開催によりアーティストの視点を広く共有、来場者との対話交流も創作プロセスの一部としてワークを重ね12月に新作を発表した。育成プログラムでは、公募の振付家・照明家・ダンサーが講座や対話をとおして新たな視点を取り入れながら、アイディアを言語化し実験する場となった。これらの取り組みにより、文化芸術の創造過程と新たな価値を幅広い世代に共有できた。（大野、安藤）



Photo: Lucas Provost

大佛次郎記念館



Photo:大野隆介

令和7年度は、3つのテーマ展示を通じて多様な切り口から大佛次郎とその周辺文化を紹介しました。実兄・野尻抱影生誕140年を取り上げた展示、現存画家とのコラボレーションによる大佛作品の新たな表現、旧蔵品をもとにした「猫」をテーマとする展示などにより、作品と作家の魅力を幅広く発信しました。また、従来他団体との連携に加え、風景印を通じた郵便局との新たな連携の取り組みを行いました。ビブリオバトルでは教育委員会からの依頼で今年度も研修講師を務めるなど読書活動の普及に寄与しました。また、昨年度に公開したデジタルアーカイブの充実を進めました。

テーマ展示Ⅱ 藤井健司×大佛次郎「帰郷 HomeComing」－めぐる、めぐる旅の途中で【方針4】

ねらい

大佛次郎の小説「帰郷」を結節点とする、作家・大佛次郎(1897-1973)と画家・藤井健司(1981-)の時代とジャンルを超えたコラボレーション企画。文学と美術の共振を目指す。

内容

大佛の戦後の代表作の一つ小説「帰郷」と、挿絵ではなくこの小説に着想を得て、藤井健司が2006年に小説の舞台を取材し、制作した絵画作品と最新の映像作品を中心に紹介。

参加者の声

- ・家の未読のものを、心して読み返したいと思いました。戦争が心に与えたものについて・・・。（来館者アンケートより）
- ・時代を超えたコラボレーションと交流に感動しました。本展をきっかけに、同年代の作家、藤井健司氏に興味を持ちました。（来館者アンケートより）
- ・絵を通して、その時代、場所の息づかいが聞こえてくるような、すばらしい展示でした。（来館者アンケートより）

担当職員の視点

大佛次郎が「帰郷」を執筆する際ベースとなった、戦中の南方視察中の「日記」や藤井健司による作品制作の準備プロセスともなった一連の「絵手紙」など、異なる表現方法による創作の連鎖を示す中で、来館者=見る人/読む人の想像力をかき立て、作品の時代背景や空気感など、テキストや画面の裏側に思いを馳せてもらう事をねらいとした。テーマ展示初の図録は映像作品を視聴できるQRコード付。紅葉の和室で開催した添釜茶会では藤井健司自ら聞香琴を奏でた。アンケートには「異なる時代と表現方法だが、不思議と共通したものを感じた」とあるなど、文学と美術の交差により生まれる共振が来館者に確かに届いた手ごたえを感じる結果となった。（安川）



添釜茶会風景

テーマ展示Ⅰ 野尻抱影生誕140年記念「星の文人 野尻抱影の宇宙」 【方針4】

ねらい

大佛次郎長兄、野尻抱影の生誕140年を記念する展覧会。冥王星の名付や星の和名収集など、独自の言葉で天空のロマンを語った「星の文人」野尻抱影の業績と人間像にせまる。

内容

星景写真と珠玉のエッセイ、抱影の学生生活を物語る同時代研究者との書簡や資料展示の他、家族とのエピソードを集め紹介した。旧蔵望遠鏡を用いた観望会を初めて実施。

参加者の声

- ・初めて抱影について知りましたが、作品をよんでみたいとすごく感じた展示でした！また星にまつわる企画をしてください。（展示アンケートより）
- ・私は天文が趣味のため山口県から展示を見るため上京しました。野尻抱影の本も多数所有しています。色々な展示が分かりやすくよかったです。（展示アンケートより）
- ・きょうなロングトムから月を見ることができてとても感動しました。また来たいです。（観望会参加者アンケートより）

担当職員の視点

文学館ならではの展示に加え、自然科学分野の博物館や専門家の協力を得たことで、英文学者でアマチュア天文家という多彩な研究領域をもつ野尻抱影の魅力を、広い年代と来館者層に向けて発信できた。約50年ぶりの再刊となった『三つ星の頃』（筑摩書房）の販売は80冊を売り切る人気となり、抱影蔵書（自著・洋書）の新たなデータ公開では、中学生を含む専門家からのレファレンス増加や研究発表・論文執筆などの成果を得た。また外部の専門学芸員の解説による望遠鏡Long Tomを用いたの観望会は両日とも満足度の高い結果となった。月刊「星ナビ」での連載小説への協力や他館への資料貸出も含め、全国に向けた顕彰機会となった。（安川）



観望会風景(8/2)

ビブリオバトルシリーズ2025 【方針1,3】

ねらい

文学館の基本機能である「観る、知る、読む」を普及事業として展開、「考える」力を深める。「言葉が生み出す力」を感じるプログラム作りを行い、文学館ならではの体験機会を提供する。

内容

小学生以上対象の「みんなのビブリオバトル」、「中高生ビブリオバトル」、小学4～6年生を対象の「小学生ビブリオバトル」、学校を訪問して行う「デモ・ビブリオバトル」を実施。

参加者の声

- ・きんちょうして、うまくはなせなかったけれど、中学生になったらまたさんかしてみたいとおもいました。（ミニ・ビブリオバトル参加者アンケートより）
- ・自らの発表を楽しむことができた上、他の発表もとても興味深く良い刺激になりました。機会があればまた参加したいです。（中高生ビブリオバトル参加者アンケートより）
- ・紹介する本も全て中学生とは思えないレベルの高いものでした。発表の仕方もレベルが高かったです！！（中高生ビブリオバトル見学者アンケートより）

担当職員の視点

大人・中高校生・小学校高学年対象の3つのビブリオバトルをシリーズとして展開、世代を超えて「知る、読む、考える」体験を共有する機会を提供できた。参加者の満足度についてのアンケート結果も非常に高く、当館のねらいに沿った成果を確認できた。また、シリーズのイベント3件に加え、デモビブリオバトル3校、学校司書向け研修1回を実施、特に学校司書向け研修では、研修後に新たなビブリオバトル実施の依頼が寄せられるなど、活動が循環する流れを作ることができた。今後も、ビブリオバトルが「言葉が生み出す力」を感じるプログラムとして定着しさらに広がるよう、安定した運営に取り組みたい。（大房）



第13回ミニ・ビブリオバトル

横浜市民ギャラリー



photo: UESUGI Akira

指定管理期間の4年目となる令和7年度は「持続可能な施設運営」をテーマに、指定管理者の先にある市民ギャラリーのあるべき姿を描くため、中長期的な視点に立ち各事業の見直しと運営基盤の再整備に取り組みました。開催60周年を迎えた「横浜市こどもの美術展」、多様な美術表現を紹介する「新・今日の作家展」、市民の財産である収蔵作品の魅力に触れる「コレクション展」の3つの企画展を主軸に、アトリエ講座をはじめとする多様な事業を展開し、ボランティア活動や学生インターンの受入れなど、様々な世代の市民と協働しながら開かれたギャラリーとしてプレゼンスの向上をはかりました。

横浜市こどもの美術展2025 【方針1】

ねらい

子どもたちの創作活動を促進し、自由な発想と豊かな表現を育むとともに、美術作品に身近に触れる機会を提供することで、美術への関心を高め、その健やかな成長を応援する。

内容

横浜市内在住・在学の12歳以下の幼児・児童を対象とした無審査の公募展。子どものためのコレクション展やワークショップなど様々な関連イベントもあわせて実施した。

参加者の声

- ・自分の子どもが自由に描いた作品が展示されていて感動しました。（来場者）
- ・音楽イベントは子どもも参加できる内容で楽しい試みだった。コレクションを鑑賞する視点（みてみよう！カード）がよいヒントになっていた。（来場者）
- ・子どもも大人も夢中になって取り組んでいる姿が印象的でした。声をかけると笑顔が見られてとても嬉しかったです。（ワークショップボランティア）

担当職員の視点

開催60周年を迎え、「たからもの」をテーマに掲げた本展には1,500点を超える作品応募があり、子どもたちの創作意欲あふれる場となった。関連イベント「コロロとたからさがし」は来館者に館内の周遊を促すことで、より多くの作品に触れるきっかけを生み、子どもたちそれぞれの自由な表現とその成長の過程を楽しみながら鑑賞する姿が見られた。また前年まで作品応募で参加し続けていた子どもが、中学生になりボランティアとして携わってくれた。作品を出品する子どもだけでなく、それぞれのライフステージに合った生涯学習の場として、幅広い年代の方々の活躍につなげることができた。（伊藤）



「横浜市こどもの美術展2025」の様子 Photo: Ken Kato

新・今日の作家展2025 穿ちの表象 【方針5】

ねらい

1964年から続いた「今日の作家展」の理念を受け継ぎ、同時代の多様な表現を紹介する年次展覧会。作家の制作活動を支援するとともに文化・芸術の鑑賞の機会を広く提供する。

内容

副題「穿ちの表象」のもと、物事をよく見ることを起点に各自の視点と手法で表現を展開する3名の作家、畑山太志、早川祐太、松原茉莉の作品を紹介。併せて関連イベントを開催。

参加者の声

- ・意識や記憶、実在するものと関わることによって自分の中に生まれる実在しないものについて探っていく鑑賞体験はとても良かったです。
- ・アーティストたちが結果として生み出した作品だけでなく、そこに至る思考のプロセスにも興味を抱くことができる展示になっていて良かった。
- ・毎年、期待して楽しみにしている企画です。今回もとても興味深く拝見しました。

担当職員の視点

「穿つ」は物事の本質や人情の機微に巧みに触れる意味を持つことから「穿ちの表象」をテーマとした。畑山、早川、松原の3名がそれぞれの異なるアプローチにより新作を発表、意欲的な展示を展開した。また、関連イベントとして、アトリエでの対談を有料化しつつも、無料の出品作家によるギャラリートツアーやクロージングトークを設けて鑑賞の機会を広く提供し、アンケートによる満足度は4.81を獲得した。さらに、作家へのインタビュー、記録集の制作をおこない、アーカイブしたことは、自館の記録であると同時に作家の貴重な資料となり、今後の制作活動の支援につながることで期待される。（齋藤）



早川祐太 展示風景 Photo: Ken Kato

横浜市民ギャラリーコレクション展2026 戦後をあゆむ 【方針4】

ねらい

1964年の開館以降収集されてきた約1,300点の所蔵作品を、年一回テーマを設けて展覧し、調査研究の成果と共に公開することでコレクションの魅力を発信する。

内容

1930～1940年代の戦争の影響や戦時下の様子、戦後の社会について読み解くことができる絵画、写真、一コマ漫画に、所蔵作家の関連資料を加えて展示する。

参加者の声

- ・戦後80年の節目を迎えて戦争の記憶や終戦後の復興などが忘れられてゆく中で、こういった展示でその時代や人々の歩みを見ることはとても有意義なことだと思います。（展覧会来場者）
- ・今の横浜になる前の街の姿を様々な視点から知ることができてとても良かったです。暗い側面がありながら、絵や写真に少しの温かさが見えることもあり、印象的でした。（展覧会来場者）
- ・横浜の人の歴史を独自のアンテナと信念で掘り下げ、たえず発信を続ける表現者の姿に刺激を頂きました。ギャラリーの企画、運営に感謝します！（朗読公演来場者）

担当職員の視点

横浜を中心とした日本の戦後のあゆみをテーマに所蔵作品を選出し、関係機関からの借用作品や資料を加えることで、地域の歴史を丹念に追い、コレクションに新たな角度から光をあてることができた。会期中には、俳優・五大路子による朗読「戦後を生きた女性たち」や、横浜シティガイド協会と共催したガイドツアーなど多くのイベントを通して新規の来場者を獲得するとともに、テーマをより深く掘り下げることができた。来場者と交流する鑑賞サポーター（ボランティア）の活動や、地域ケアプラザと協働した鑑賞会を実施することで、様々な方に展覧会を開き、対話を通じた豊かな鑑賞の機会を生むことができた。（森）



「横浜市民ギャラリーコレクション展2026 戦後をあゆむ」展示風景 Photo: Ken Kato

横浜市民ギャラリーあざみ野



開館20周年に合わせ、新ロゴ制作や情報誌刷新、コレクション紹介パンフレットの発行やInstagram開設など、広報強化に取り組みました。事業では、市民と協働するワークショップ〈表現と生活をめぐる〉を実施し、当館の歩みを振り返り、今後を共に考える機会としました。「やさしい美術鑑賞」は4年目を迎え、ガイドライン発行による普及を進めるなど新たな展開を遂げています。また「あざみ野コンテンポラリー」「あざみ野フォト・アニュアル」では、旬の作家による時代性に合った展示で注目を集め、有料化後初の展覧会ではありましたが、幅広い来館者を迎えることができました。

開館20周年記念ワークショップ〈表現と生活をめぐる〉vol.1～4 【方針1,2,3】

ねらい

20年経過による施設周辺環境や社会の変化を踏まえて、施設の未来を市民と共に考える機会を創出。対話、協働、思考、実験を繰り返しながら施設も地域も豊かにしていく。

内容

「サードプレイス」「中高生との交流」「じっくり、ゆっくりな子どもの学び」「認知症にやさしい街における趣味と遊び」の4つのテーマで開催。記録集も発行した。

参加者の声

- ・芸術の概念が変わりました。身近なものになって無限大ですね！
- ・子どもたちを教えるのは、教師だけではなく、地域や多くの人との関わりが必要だと感じました。「豊かな学び」をテーマにいっそう考えていけたらと思います。
- ・今日のようなワークショップは今までにない感じです。若い学生の方々の考え方とか聞けるのは楽しみです。

担当職員の視点

今回のワークショップは、「表現」を広く捉え直す時間になった。文化施設は、平和で自由な社会の中で個人の表現を守り育む場である。本会では、作品づくりだけでなく、座る・歩くといった所作や創作活動、福祉やまちづくりへの関わりまでを表現として捉え、地域の生活と文化施設がどう結びつくかを参加者と考えた。その結果、地域における文化施設の多様な価値が見え、今後の取り組みにつながる多くの“種（ヒント）”が集まった。また、参加者との連携が深まり、大学と協働した共用部の活用実験、中高生のボランティアの機会創出、小学校の授業が当館で展開といった具体的成果が出た。（杉崎）



横浜市民ギャラリーあざみ野開館20周年記念ワークショップ記録集
表現と生活をめぐる／これから

あざみ野フォト・アニュアル2026

上原沙也加 たとえすべての瓦礫が跡形もなくきれいに片付けられたとしても 【方針1,2】

ねらい

現代に生きる写真家による表現を紹介することで、鑑賞者が写真表現の「いま」に親しむ機会とし、若手写真家の育成をはじめ作家支援を目指す。

内容

沖縄生まれの写真家・上原沙也加による、「眠る木」「前の浜」「緑の部屋」「緑の日々」の全4シリーズを通して、約10年にわたる取り組みを網羅的に紹介。

参加者の声

- ・作品に写っているものを鑑賞者として感じるというより、作品を観た自分がその光景の手前まできてその光景を臨んでいるような気持ちになりました。
- ・この時期、毎年楽しみにしております。展示企画のレベルの高さに驚きました。拝見できて、良かったです。
- ・3日に分けて観ました。別日に再入場可能なのも何度も観に行けて自分にはうってつけでした。本当はもっと観に行きたかったくらいです。

担当職員の視点

注目の若手写真家による公立ギャラリー初個展。生活と地域にある風景と、島々に残された歴史の痕跡と今なお残る傷跡を丁寧に掬い取るアプローチに注目。沖縄島で撮影された「眠る木」、最新作「前の浜」と台湾で2023年から撮影をはじめた「緑の部屋」、「緑の日々」の全4シリーズから72点を紹介。上原が捉えた「時間」と「場所」に向き合うことができる展示構成とした。アーティストトーク、長島有里枝氏（写真家）との対談、学芸員によるギャラリートークはいずれも盛況。新聞展評掲載2本のほか、SNSでも話題となり展覧会冊子、写真集は完売。写真家の今後のさらなる活躍を後押しする展覧会となった。（佐藤）



「上原沙也加 たとえすべての瓦礫が跡形もなくきれいに片付けられたとしても」
会場風景 photo: KATO Ken

アート+認知症 やさしい美術鑑賞プログラム 【方針1,2】

ねらい

アートを通して、地域全体が高齢者や認知症について理解を深める。誰もがアートを楽しみ、鑑賞という選択肢を持ち続けられることを目指す。

内容

福祉施設での鑑賞アウトリーチを実施。施設職員がファシリテーターとなる回も設けた。認知症デザインをテーマとした講座の開催や、過去の実践を基に鑑賞ガイドラインの作成も行った。

参加者の声

- ・絵画の題材も分かりやすく、明らかに大半のメンバーの刺激になっていた。（鑑賞アウトリーチ）
- ・アートに興味が高い人も、和やかな場の空気感により穏やかに場を共有。アートへの興味が深い人は深く入り込むことができ、その場にいるほとんどの人がそれぞれに楽しめる良い時間であった。（鑑賞アウトリーチ）
- ・まわりの人が認知症の人を理解してデザインや環境を変えて行くように視点が変化している。社会が変わってきている。（講座）

担当職員の視点

アウトリーチでは、「横浜市民ギャラリー」の所蔵作品画像等を用いて鑑賞会を実施した。参加者に馴染みのある横浜を題材にした作品をきっかけに会話が生まれた。施設職員がファシリテーターとして鑑賞会を進行する回では、普段の関係性の中で自然に会話が広がり、施設内で継続的に鑑賞活動を行う可能性も見えてきた。また、これまでの講座や鑑賞会の実践を踏まえて「アートとぼつぼつばなレーやさしい美術鑑賞ガイドライン」を作成し、施設や家庭など日常の場で鑑賞が始められる導入ツールとして整備した。これらの取り組みを通して、アートを介したコミュニケーションの可能性を共有し、文化施設と福祉分野の連携を広げる契機となった。（北川）



「<いつもの場所で>やさしい美術鑑賞会」の様子

経営企画・ACYグループ



2025年度ACYアーティスト・フェロー
安田葉「対話の風」(2026年1月、Co-coya)会場風景
Photo: Naho Matsui

中期経営計画(2022-2025)の最終年度で総括となる令和7年度。財団の総合力及び経営の持続性を念頭に、次期計画(2026-2029)を策定しました。また施設との協働、ミッション、ビジョン、バリューに基づいた財団ウェブサイトのリニューアルやメディアと連携した情報発信などに注力。ACY事業では、「ACYアーティスト・フェローシップ助成」を通して、アーティストのキャリア形成支援とアートと地域の新たなつながりづくりを行い、また、全市的な活動に向けて、コミュニティ拠点の調査を実施しました。「横浜 JAZZ PROMENADE」は、横浜市歌のジャズ編曲など横浜ジャズ100年として様々な特別企画を実施。また公共空間等を活用した大規模フェスティバル「Live! 横浜」の開催に向けた準備も着実に進めました。

ACYフォーラムvol.5「横浜発の創造性：広がるつながり、新たなチャレンジ」 ACYフォーラムvol.6「くらしと環境をつなぐ、デザインやアートの力 -GREEN×EXPO 2027に向けて-」 【方針3】

ねらい

横浜市内外の人や活動を紹介し、創造性を軸に未来を考える場。
ネットワークを広げ、文化芸術が社会とつながる様々な可能性を共有する。

内容

vol.5では都心臨海部にて市内企業向けに創造的な拠点・NPOの紹介を、vol.6では都筑区にて広く市民を対象に持続可能な社会の実現に向けたデザイナーの考えを共有する会を開催。

参加者の声

- ・「広く発信が出来たこと、普段つながらない方々と交流出来たことが貴重だった」(vol.5 登壇者より)
- ・「デザインについての考え方を知ることができた」「自分たちが不要と判断してしまっているものが目線を変えれば有用になるという示唆に富んでいた」(vol.6 参加者より)

担当職員の視点

vol.5では、2025年に新たな展開を迎えた創造界限拠点の紹介を通じ、参加者が今後の協働を具体的に想起できる機会を創出した。コメントカードには登壇者への応援や関心が多数寄せられるなど、拠点間および参加者との関係構築や連携に向けた機運の醸成につながった。vol.6の参加者アンケートでは「アートやデザインによる環境への取り組みが身近になったか」に対し95%が肯定的に回答し、認識の変化を促した。また、会場やモデレーターの協力による地域に根ざした広報により、回答者の4割超がACYを初認知、65%超が初参加となるなど、新たな参加者の獲得と裾野の拡大に寄与した。(森)



横濱 JAZZ PROMENADE 2025 【方針1,4】

ねらい

横浜の文化資源であるジャズの魅力を発信するとともに、市民・民間団体・文化施設・行政等との協働を通じて、文化の継承・発展と音楽による街のにぎわい創出、地域活性化につなげる。

内容

1993年から続くジャズフェスティバル。関内・みなとみらい地区を核に、ホールライブ、街角ライブ、ジャズクラブ、地域文化施設と連携するサテライト企画等を開催する。

参加者の声

- ・横浜の街並みと青空の下、JAZZが聴ける。とても最高です。これからも応援しています。(来場者)
- ・街全体がジャズ一色になるイベントに、当事者として参加させていただき感激しました。(「街角ライブ」出演者)
- ・長年チケットを買って楽しめました。楽しませていただいた御礼をと思いボランティア活動に参加させていただきました。(運営ボランティア「ジャズクルー」)

担当職員の視点

横浜でジャズが初めて演奏されてから100年の節目となる2025年は、「次なる100年の歴史を築いていく」ことを念頭に企画。パートナー都市であるフランクフルト市と台北市からのアーティスト招へいにより国際交流を深めるとともに、市民に親しまれている市歌をジャズ編曲した「横浜市歌 JAZZPRO 2025 Ver.」を制作、楽譜を公開した。同曲は、街角ライブでの演奏を通じ、市民が文化資源を身近に楽しむ機会となり、シビックプライドの醸成にも寄与した。初日は屋外会場が雨天中止となったが、2日目は昨年を大きく上回る6万人以上が来場。街角ライブの応募も400件を超えるなど、市民の根強い支持と期待を再確認する結果となった。また、市内文化施設との共催によるサテライト事業は過去最多の16事業を数え、市全域への波及と連携が着実に進んでいる。(西垣)



街角ライブ スペシャルステージ FUNK UP BRASS BAND
(撮影: 菅原康太)

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・子どもの文化体験推進事業 【方針1】

ねらい

子どもたちの創造性を育み、豊かな情操を養う機会を拡大するため、学校、アート団体、行政が連携・協働し、アーティストが学校に向向いて実施する「学校プログラム」やキッズクラブを主とした子どもの居場所での「みちくさ*アート」を通じて、文化芸術に触れる機会を広げる。

内容

学校プログラムでは音楽、伝統芸能分野のアーティストを4校に派遣し、鑑賞・体験プログラムを実施した。みちくさ*アートでは、ダンス、演芸、美術のプログラムを12カ所のキッズクラブ、児童クラブでおこなった。また、先生のための授業づくり講座「雅楽」を実施した。

参加者の声

- ・音楽はただ楽しい、音がきれいなだけでなく、自分の思いがこもっていたり、その音楽に自分の思いを乗せたりできるものだということがわかりました。(学校プログラム(音楽)参加児童)
- ・ふだんは見られない子どもたちの他の側面が見られ、新しい一面を再発見する機会となった。日本の伝統芸能や伝統楽器を、日本昔話など、今の子どもたちが触れる機会はとても少ないように思うため、こうしたプログラムがもっと増えるとよいと思った。(キッズクラブ(演芸)職員)
- ・教科書をもとにした実践的な内容で大変勉強になりました。また初めて間近で笙の演奏を聴き、神秘的な音色に魅了されました。教えていただいたことを活かして、雅楽の魅力が伝わる授業をつくっていきたいと思います。(授業づくり講座参加教員)

担当職員の視点

アーティストを学校に派遣するプログラムは、子どもの創造性を育み、学校教育を活性化する取り組みである。子どもにとっては、アーティストとの対話や表現活動を通じて創造力・主体性・コミュニケーション能力が高まり、日常の授業では得られない刺激的な学びを創出している。学校にとっては、授業の多様化や教員の新たな気づきにつながり、外部との協働による教育環境が豊かになる。さらに、このプログラムを通じて、地域社会にも文化芸術へのアクセスを広げ、将来の観客や担い手を育むという波及効果が生れる。こうしたさまざまな成果により、アートを通じた学びと文化の循環という、社会的に大きな価値が形成されている。(千装)



横浜市芸術文化教育プラットフォームの様子(アーティスト: 平野義愛)

3 事業一覧

(1)公益事業

■横浜美術館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜美術館リニューアルオープン記念展 「おかえり、ヨコハマ」	R7.2/8-6/2	37,593	主催:横浜美術館、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川) 特別協力:横浜市歴史博物館、神奈川県立歴史博物館 協力:みなとみらい線、国立映画アーカイブ、株式会社イルカ、株式会社ルーヴィス
2	SIDE CORE×横浜美術館「KAİROS／カイロス」	2/8-R8.3/31	—	助成:文化庁「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」
3	横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」 関連プログラム (教育普及プログラムを除く) ①ギャラリートーク ②ギャラリートーク ③ワークショップ「檜皮一彦と大階段を攻略する」 ④アーティストトーク「檜皮一彦とスロープの上で語る」 ⑤講演会「堀越英嗣×乾 久美子 横浜美術館の建築を読み解く」	①4/5 ②4/26 ③4/27 ④4/27 ⑤5/17	329	
4	コレクション活用／オンライン配信「じっくりみる この一点」 【配信】 ①サル・バドール・ダリ《ガラの測地学的肖像》 ②宮川香山(初代)《高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉》 ③世井 弘《動植物》 ④浅井裕介《八百万の森へ》 【制作】※次年度公開 ⑤奈良美智《春少女》 ⑥歌川広重(三代)《横浜波止場より海岸通異人館之真図》	公開配信日 ①5/17 ②5/21 ③9/20 ④10/10	—	
5	横浜美術館リニューアルオープン記念展 佐藤雅彦展 新しい×(作り方+分かり方)	6/28-11/3	276,130	主催:横浜美術館、TOPICS 特別協賛:株式会社電通、株式会社サイバーエージェント、DNP大日本印刷 協賛:株式会社湖池屋、株式会社ビームス 協力:NHKエデュケーショナル、アドミュージアム東京、NEC、東京藝術大学大学院映像研究科、佐藤雅彦教育文化財団、みなとみらい線
6	横浜美術館リニューアルオープン記念展 いつもとににるから 日本と韓国、アートの80年	12/6-3/22	37,499	主催:横浜美術館、国立現代美術館 協賛:李熙健韓日交流財団 助成:公益財団法人森村豊明会、公益財団法人野村財団、公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市) イベント助成:公益財団法人ポーラ美術振興財団、公益財団法人吉野石膏美術振興財団 特別協力:国立国際美術館 協力:みなとみらい線 後援:駐日韓国大使館 韓国文化院、駐横浜大韓民国総領事館
7	いつもとににるから 日本と韓国、アートの80年 関連プログラム (教育普及プログラムを除く) ①「いつもとににるから 日本と韓国、アートの80年」関連シンポジウム ②美術手帖プレミアム会員向けトークイベント	①2/7-8 ②3/8	138	

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜美術館コレクション展1 ◇ 関連プログラム ①ギャラリートーク ②ギャラリートーク(英語通訳付き) ③ギャラリートーク ④ギャラリートーク(手話通訳付き) ⑤陶磁器鑑賞と装飾技法「イッチンや金彩」による創作体験 ⑥ひっくり返す・ひっくり返る！？版画体験	①4/11 ②4/19 ③5/2 ④5/10 ⑤5/24、25、 6/7、14、21 ⑥6/1	180	②④令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業(文化庁委託事業)

- ◎ 子ども対象事業
- ◇ インクルーシブ(共生社会)事業

2	子どものアトリエプログラム ◎ みんなのフリーズゾーン	4/13、20、27、 5/11、18、25、 6/8、15、22、 7/6、13、20、 8/10、24、31、 9/7、14、21、 10/5、12、19、 11/9、16、30、 12/7、14、 1/11、18、25、 2/1、8、15、 3/1、8、15	9,756	
3	子どものアトリエプログラム ◎ 学校のためのプログラム ①造形 ②鑑賞	①4/16、18、 23、5/14、16、 21、23、28、 30、7/1、2、4 、9、11、16、 9/3、5、9、12、 17、19、24、 26、10/1、3、 8、10、15、17 、24、28、31、 12/10、12、 17、19、1/14、 16、21、23、 28、2/4、6、 13、18、20、 25、27 ②9/10、16、 10/21、29、 1/20、30、 2/3、17	3,339	
4	市民のアトリエ プログラム 個人対象プログラム(アートとふれあう) ①市民のアトリエ体験ワークショップ(Aコース) ②陶磁器鑑賞と装飾技法「イッチンや金彩」による創作体験 ③市民のアトリエ体験ワークショップ(Bコース) ④ワークショップ野外彫刻洗浄・鑑賞体験 ⑤版画体験コース(Aコース) ⑥知るともっと楽しい! 版画シリーズ 1 銅版画×道具の関係 ⑦野外彫刻の鑑賞と創作体験 細井篤《風が、かたる…》 ⑧動くひとを描くー 日本画の画材でドローイング ⑨ゆっくりじっくり描く時間ー 静物デッサンと人体クロッキー ⑩市民のアトリエ体験ワークショップ(Cコース) ⑪レーベルの星かざりー ツヴィリンゲの紙しごから(A・Bコース) ⑫市民のアトリエ体験ワークショップ(Dコース) ⑬版画体験コース(A・Bコース) ⑭「こどもの国」のイサム・ノグチを訪ねてー その歴史と現在 ⑮コンピューターによる蛸型鋳造体験 ⑯フュージング(ガラス技法)体験と鑑賞	①4/20、5/18 ②5/24、25、 6/7、14、21 ③6/10、7/8 ④9/20 ⑤9/23、10/4、 11、18、25 ⑥10/12、26、 11/9、16 ⑦10/19 ⑧11/22 ⑨11/29、 12/6 ⑩11/30、 12/21 ⑪12/7(2回) ⑫1/18、2/8 ⑬1/24、31、 2/7、14、21 ⑭1/25、2/15 ⑮1/31、2/7 ⑯2/14、21	487	
5	子どものアトリエプログラム ◎◇ 障がいのある子どもたちのためのプログラム「のびのび造形じかん」	4/26、5/24、 6/21、7/19、 8/30、9/20、 10/18、11/15、 12/13、1/24、 2/14、3/14	430	
6	「おかえり、ヨコハマ」 関連プログラム(教育普及プログラム) ◇ ①横浜市歴史博物館×横浜美術館「とりもどせ! ヨコハマ原始感覚」 ②アクセスプログラム ことばで一緒にみる鑑賞会(午前・午後) ③アクセスプログラム オンライン鑑賞会 ④陶磁器鑑賞と装飾技法「イッチンや金彩」による創作体験	①4/27 ②5/11 ③5/18 ④5/24、25、 6/7、14、21	61	①横浜市歴史博物館(協力) ②③令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業(文化庁委託事業)
7	子どものアトリエプログラム ◎ 個人の造形プログラム ① ガラスってどんなもの? ②木の車をつくろう ③スタンパート ④モザイクアート ⑤でかっ! デカルコマニー ⑥木彫に挑戦! ペンギンを彫ろう! ⑦子どももおとなも しらないわたしをさがしてみよう	①4/27、5/11、 25 ②6/15、22 ③7/6、13 ④9/7、14 ⑤10/5、12 ⑥11/30、 12/7 ⑦2/1	245	

8	鑑賞プログラム ◎◇ ①ことばで一緒にみる鑑賞会(午前・午後) ②オンライン鑑賞会 ③第1回 横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会 ④埼玉県高等学校教諭 美術・工芸研究会 現地見学研修会 ⑤ファミリープログラム ビビッと！びじゅつ探検ツアー(午前・午後) ⑥ことばで一緒にみる鑑賞会(午前・午後開催) ⑦オンライン鑑賞会 ⑧ビビッと！びじゅつ探検隊(心の教育ふれあいコンサート連携プログラム ⑨ワークショップ「横浜美術館の建物について考える」 ⑩第2回 横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会 ⑪ことばで一緒にみる鑑賞会(午前・午後) ⑫オンライン鑑賞会 ⑬ファミリープログラム ビビッと！びじゅつ探検ツアー(午前・午後) ⑭横浜市図画工作科・美術科研修 ⑮若者支援プログラム ⑯ビビッと！びじゅつパートナー研修 ⑰ビビッと！学ぼう会	①5/11 ②5/18 ③7/23 ④8/20 ⑤8/23 ⑥9/7 ⑦9/21 ⑧9/29、30、 10/1、6、7、 8 ⑨12/12、 1/21 ⑩12/26 ⑪2/21 ⑫3/14 ⑬3/20 ⑭7/25 ⑮2/12 ⑯7/27、 8/9、31、 11/15、 12/21、 1/17 ⑰3/7	902	①②⑥～⑨⑪⑫⑮～⑰ 令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業(文化庁委託事業)
9	市民のアトリエ プログラム オープンスタジオ ①オープンスタジオ版画室 ②オープンスタジオ平面室 静物デッサン(Aコース) ③オープンスタジオ平面室 人体クロッキー[着衣](Aコース) ④オープンスタジオ平面室 静物デッサン(Bコース) ⑤オープンスタジオ平面室 人体クロッキー[着衣](Bコース) ⑥オープンスタジオ立体室 テラコッタ(Aコース) ⑦オープンスタジオ立体室 木彫(Aコース) ⑧オープンスタジオ立体室 木彫(Bコース) ⑨オープンスタジオ立体室 テラコッタ(Bコース) ⑩オープンスタジオ版画室(2期) ⑪オープンスタジオ平面室 静物デッサン(Cコース) ⑫オープンスタジオ立体室 テラコッタ(Cコース) ⑬オープンスタジオ平面室 人体クロッキー[着衣](Cコース) ⑭オープンスタジオ版画室(3期) ⑮オープンスタジオ立体室 木彫(Cコース) ⑯オープンスタジオ版画室(4期) ⑰オープンスタジオ平面室 静物デッサン(Dコース) ⑱オープンスタジオ平面室 人体クロッキー[着衣](Dコース)	①5/28、31、 6/4、7、11、 14、18、21、 25、28、 7/2、5、9、 12、16、19、 23 ②6/8、15 ③6/17、24 ④7/4、11 ⑤7/13、20 ⑥7/29、 8/5、26 ⑦7/5、12、 19、26、 8/2 ⑧8/10、24、 9/7、14、 21、10/5、 12、26、 11/9、16 ⑨8/30、 9/6 、27 ⑩9/10、13、 17、20、24、 27、10/1、 4、8、11、 15、18、22、 25 ⑪9/20、27 ⑫10/4、18、 25、11/8、 15、12/13 ⑬10/11、 18 ⑭11/12、 15、19、22、 26、29、 12/3、10、 13、17、20 ⑮12/23、 1/13、27、 2/10、24、 3/10、24 ⑯1/14、17、 21、24、28、 31、2/4、7、 14、18、21、 25、3/4、7、 11、14、18、 21 ⑰1/25、 2/1 ⑱2/10、17、 24、3/3	1,172	
10	子どものアトリエプログラム ◎ はじめての造形あそび	6/9、18、 27、11/12、 19、21	318	
11	横浜美術館コレクション展2 ◎◇ 関連プログラム ①ギャラリートーク ②第1回 横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会 ③ギャラリートーク(英語通訳付き) ④ギャラリートーク ⑤ギャラリートーク(手話通訳付き) ⑥オンライン鑑賞会 ⑦ファミリープログラム ビビッと！びじゅつ探検ツアー(午前・午後) ◎ ⑧対談 戸田沙也加×小田原のどか	①7/18 ②7/23 ③8/2 ④8/22 ⑤8/30 ⑥9/21 ⑦8/23 ⑧9/14	181	③⑤⑥令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業(文化庁委託事業)

12	子どものアトリエプログラム ◎ 《よこしん》親子でエコ教室 エコバック制作	7/28	100	
13	横浜市小学校図画工作教育研究会 夏季実技研修会	7/29	29	
14	佐藤雅彦展 新しい×(作り方+分り方) ◎◇ 関連プログラム(教育普及プログラム) ①アルゴリズムでおどろろ! Aコース ②アルゴリズムでおどろろ! Bコース ③アルゴリズムでおどろろ! <パレードパフォーマンス> ④ことばで一緒にみる鑑賞会(午前・午後) ⑤配信「アルゴリズムでおどろろ!」記録映像	①8/2 ②8/2 ③10/11 ④9/7 ⑤9/30	740	④令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業(文化庁委託事業)
15	子どもの文化体験推進事業「みちくさ*アート」 ◎ ①日下小学校 ②日枝小学校 ③本校南小学校 ④みどりがくどう	①8/8 ②8/19 ③8/20 ④8/22	73	
16	アウトリーチ 高齢者施設訪問ワークショップ ◇ (横浜国大、戸部ハマノ愛生園連携) ①②横浜国立大学との取り組み(企画検討、準備) ③ワークショップ	①10/21 ②10/28 ③11/18	44	
17	企業向け芸術文化支援プログラム HEART to ART ◎◇ ①お届け子アート(神奈川県立こども医療センター)	①10/22	18	
18	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎◇ ①浦舟特別支援学校(横浜市立大附属病院院内学級) ②浦舟特別支援学校 本校 ③浦舟特別支援学校(市民総合医療センター院内学級) ④日吉台小学校 ⑤桂台小学校	①10/23 ②10/30 ③10/30 ④11/26、 12/16、23 ⑤2/2、10、 16	153	
19	企業向け芸術文化支援プログラム HEART to ART ◎ ①お届け子アート「すてきな車をつくろう」(インターナショナル・ランゲージ・ハウス) ②お届け子アート「すてきな車をつくろう」(やべのファミリールーム)	①11/7 ②11/14	25	
20	ぐるりアトリエ見学会2025 ◎	11/2、3	711	
21	法人向け芸術支援プログラム 横浜美術館アトリエ体験「初めてのデッサン・ワークショップ」	11/12	19	
22	横浜美術館コレクション展3 関連プログラム ◎◇ ①第2回 横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会 ②ギャラリートーク ③ギャラリートーク(英語通訳付き) ④ギャラリートーク ⑤ギャラリートーク(手話通訳付き) ⑥オンライン鑑賞会 ⑦ファミリープログラム ビビット! びじゅつ探検ツアー(午前・午後) ⑧バスケットリー 素材としての植物の特性	①12/26 ②1/16 ③1/24 ④2/6 ⑤2/14 ⑥3/14 ⑦3/20 ⑧3/1	217	③⑤⑥令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業(文化庁委託事業)
23	いつもとにりにいるから 日本と韓国、アートの80年 関連プログラム(教育普及プログラム) ◇ ①ことばで一緒にみる鑑賞会(午前・午後)	①2/21	27	①令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業(文化庁委託事業)
24	コレクション展 じゅうエリア展示	通年	—	

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜美術館コレクション展1	R7.2/8-6/2	41,741	
2	横浜美術館コレクション展2	6/28-11/3	302,915	
3	アーティストとひらく 戸田沙也加展 沈黙と花	6/28-11/3	—	
4	横浜美術館コレクション展3	12/6-3/22	49,146	
5	コレクションの収集・形成	通年	—	
6	コレクションの保存	通年	—	
7	コレクションの活用 ①特別利用(収蔵品図版貸出、熟覧対応) ②MMパークビルエントランス空間監修	①通年 ②通年	—	

8	コレクションの管理 収蔵品のレジストレーション、収蔵品目録発行、収蔵品貸出、美術資料の 画像公開推進、多言語による美術作品情報提供推進	通年	—	
9	美術図書室 映像資料デジタル化 (①業務で利用する図書資料の出納/②所蔵映像資料デジタル化・公開/ ③蔵書のデータ更新・公開/④大規模改修工事後の活動方針等の検討)	通年	—	

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	年報発行	3月発行	—	

⑤芸術文化振興に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	美術館教育普及検討会議	2/28	6	
2	研究紀要発行	3月発行	—	
3	コレクションの調査・研究	通年	—	

⑥芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	コレクション/企画展の海外巡回へ向けた取り組み	通年	—	

■横浜みなとみらいホール

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	貸館鑑賞公演支援(小ホール) ①横浜弦楽四重奏団 みなとみらい定期演奏会 第7～9回 ②横浜バロック室内合奏団定期演奏会(2回公演) 第113～116回 ③オペラ ガラ コンサート ～ミヒャエル・ハンベ氏に感謝を込めて～ ④ジョン・健・ヌッツォ Premium Concert ⑤うたフェスJAPAN(横浜国際合唱フェスティバル、Japan Barbershop Convention ほか 計5公演) ⑥ヴィルトゥオーゾ横浜 第23回演奏会 ⑦小笠原伸子・パツハ無伴奏ヴァイオリン全6曲演奏会 ⑧みなとみらいピアノフェスティバル 2025(全5公演) ⑨詩を奏でる【イザイの詩曲】第一夜 日本・ベルギー友好160周年記念 ⑩山手プロムナードコンサート J. S. パツハ・ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバ ロのためのソナタ全曲 ⑪イーブラス presents『ピアノの森』ピアノコンサート2025Autumn ⑫塩谷 哲 ピアノコンサート2025 ⑬横浜市民広間演奏会 第55回定期演奏会～愛とはどんなものかしら？ ～ ⑭第204回毎日ゾリステル 務川慧悟ピアノリサイタル ⑮第38回 ヨコハマ・ワーグナー祭 ～新春うきうきウィンナワルツ～ ⑯日本フィル 横浜アンサンブル・ワンダーランドVol.3 JPO Brass Quintet ～横浜に輝くブラサンサンブルのタベ～	①4/18、 6/20、11/14 ②5/23、7/11、 10/24、12/12 (各2回公演) ③5/25 ④6/12 ⑤8/23、24、 25(計5公演) ⑥9/7 ⑦9/26 ⑧10/5、6(計 5公演) ⑨10/7 ⑩11/1 ⑪11/9 ⑫11/16 ⑬11/23 ⑭11/28 ⑮1/9 ⑯1/27	6,255	主催： ①②⑦横浜バロック室内合奏団 ③野本真希恵 ④ジョン・健・ヌッツォ事務局 ⑤一般社団法人 東京国際合唱機構 ⑥ヴィルトゥオーゾ横浜 ⑧Piascore株式会社(みなとみらいピアノフェスティバル事務局) ⑨日本イザイ協会 ⑩山手プロムナードコンサート ⑪株式会社イーブラス ⑫株式会社ソーゴ東京 ⑬横浜市民広間演奏会 ⑭株式会社 毎日新聞社 ⑮横浜音楽文化協会 ⑯公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
2	日本フィルハーモニー交響楽団 横浜定期演奏会等 ◎ ①横浜定期演奏会 第406～415回 ②夏休みコンサート2025 ③第九特別演奏会2025	①4/19、5/31、 6/14、7/5、 9/20、10/25、 11/22、12/13、 1/24、3/21 ②7/25(2回)、 8/2(2回) ③12/21	20,726	主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
3	貸館鑑賞公演支援：みなとみらいアフタヌーンコンサート ①《グラン・パルティータ》ハンス・エルク・シェレンベルガー(オーボエ)と 仲間たち ②《村治佳織 究極の名曲選》村治佳織 ギター・リサイタル ③《飛翔—更なる境地へ》小林愛実 ピアノ・リサイタル ④《ブーランクノベート・ヴェン》宮田大&ジュリアン・ジェルネ デュオ・リ サイタル ⑤《死と乙女/ます》菊池洋子(ピアノ) & 郷古 廉(ヴァイオリン)とN響の 仲間たち ⑥《邂逅 — 奇跡の共演》前橋汀子 & 今井信子 with 横坂源 ⑦《究極のショパン》横山幸雄デビュー35周年記念 ピアノ・リサイタル ⑧《究極のショパン》横山幸雄デビュー35周年記念 ピアノ・リサイタル ⑨《40th Anniversary》錦織健 デビュー40周年記念	①4/20 ②6/13 ③7/1 ④9/25 ⑤10/16 ⑥11/11 ⑦12/11 ⑧1/21 ⑨3/17	15,760	主催：有限会社神奈川芸術協会

- ◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

4	貸館鑑賞公演支援(大ホール) ①仲道郁代 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全曲演奏会 第6回 ②廣津留すみれ(ヴァイオリン) ヘンリック・シェーファー(指揮) デンマーク国立フィルハーモニー管弦楽団 ③ 大谷康子(ヴァイオリン)&イタマール・ゴラン(ピアノ) 大谷康子デビュー50周年特別公演 ④ウィーン少年合唱団 ~天使の歌声~ ⑤古澤 巖 一蔵組曲〜ラ・カンパネラ 横浜・午後のアコース ⑥横浜開港祭 チャリティー吹奏楽コンサート ザ・プラス クルーズ 2025(2公演) ⑦華麗なるコンチェルト・シリーズ(4公演) ⑧ラハフ・シャニ指揮 ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団 ⑨ベルリン交響楽団 with 石井琢磨(ピアノ) ⑩山田和樹(指揮) & イム・ユンチャン(ピアノ) パーミンガム市交響楽団 ⑪第34回よこはまマリンコンサート ⑫うたフェスJAPAN2025(3公演) ⑬三浦一馬キーンテート ⑭マリン・オルソップ指揮ポーランド国立放送交響楽団 with角野隼斗 ⑮イ・ムジチ合奏団 イ・ムジチの四季 ⑯イー・プラス presents スタクラ 2025 in 横浜(5公演) ⑰レオシュ・スワロフスキー指揮ブラハ・フィルハーモニア管弦楽団 ⑱龍角散presents ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 来日公演 指揮キリル・ペトレンコ ⑲カーキ・ソロムニシヴィリ指揮 スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団 ⑳工藤重典演奏活動50年記念 ブランドンブルク協奏曲【全曲】 ㉑クリスマス/アヴェ・マリア エリザベート弦楽アンサンブル(2公演) ㉒デイズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2025 ㉓第43回クラウン・クラシック・コンサート ㉔ウクライナ国立歌劇場管弦楽団 & 合唱団 運命 & 第九 ㉕シャルル・リシャールニームラン ピアノ・リサイタル ㉖角野隼斗 全国ツアー-2026 "Chopin Orbit" supported by ロート製薬 ㉗大和証券グループ presents 辻井伸行 日本ツアー 2026《抒情と熱情》 ㉘こども音楽コンクール 令和7年度文部科学大臣賞授賞式 & 記念演奏会 ㉙エマニュエル・バユ ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団	①4/20 ②5/6 ③5/16 ④5/24 ⑤5/29 ⑥6/1(2公演) ⑦6/7、7/12、11/29、2/7 ⑧6/28 ⑨6/29 ⑩7/6 ⑪7/20 ⑫8/22-24(3公演) ⑬9/12 ⑭9/15 ⑮9/26 ⑯10/4-5(5公演) ⑰10/11 ⑱11/20 ⑲11/24 ⑳11/30 ㉑12/6(2公演) ㉒12/12 ㉓12/15 ㉔12/28 ㉕1/23 ㉖2/1 ㉗2/26 ㉘3/8 ㉙3/22	57,940	主催: ①③④⑤⑦⑩⑬⑮⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙有限会社 神奈川芸術協会 ②公益財団法人 石川県音楽文化振興 ⑥横浜開港祭 ザ・プラスクルーズ実行委員会 ⑧株式会社 ジャパン・アーツ ⑨⑭㉑株式会社テンポプリモ ⑪一般社団法人横浜音楽文化協会 ⑫一般社団法人 東京国際合唱機構 ⑯㉒株式会社イー・プラス ⑰⑳㉑株式会社 光藍社 ⑱株式会社フジテレビジョン ㉒株式会社tvkコミュニケーションズ ㉓神奈川トヨタ自動車株式会社 ㉔エイベックス・クラシックス・インターナショナル株式会社 ㉕株式会社 TBSラジオ
5	オルガン・1ドルコンサート(第251回～第256回) ◇ ①趙 三川 ②中川美香 ③坂戸真美 ④濱野芳純 ⑤野田美香 ⑥東方理紗	①4/23 ②5/21 ③6/18 ④9/24 ⑤11/26 ⑥3/25	8,574	助成:文化庁芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化]) 独立行政法人日本芸術文化振興会 協賛:ヤマハミュージックジャパン横浜みなとみらい
6	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会等 ①みなとみらいシリーズ 第404回～第412回 ②ヨコハマ・ネクスト・コンサート2025Meets戸塚区 ③For Future巡回公演シリーズ横浜公演 ベートーヴェン「第九」 ④Dramatic Series 楽劇「ラインの黄金」	①4/26、5/10、7/19、9/13、10/18、11/15、1/17、2/21、3/14 ②9/28 ③12/20 ④6/21	18,344	主催:公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団
7	プロデューサー in レジデンス 2025-2027 ◎ ①石田泰尚 & 石井琢磨リサイタル ②石田泰尚のサロン de スtrings(室内楽プロジェクト) ③石田泰尚 弦楽合奏部応援プロジェクト ④石田組年末感謝祭2025	①3/7 ②6/18、9/24、11/26 ③6/16、17、7/23、24、11/17、12/30 ④12/30、31	9,313	①共催:株式会社イー・プラス ③助成:文化庁芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化]) 独立行政法人日本芸術文化振興会
8	こどもの日コンサート2025 ◎ 【関連企画】 ①中学生プロデューサー2025年 5期 ②中学生プロデューサー2026年 6期	5/5(2回) ①R6.12月-5月(9回) ②12月-3月(4回)	3,146	協力:神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター、一般社団法人ボディーパーカッション教育振興会 助成:文化庁芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化]) 独立行政法人日本芸術文化振興会
9	読売日本交響楽団 横浜マチネーシリーズ 第141～148回	5/17、6/22、7/13、9/21、10/12、11/23、12/27、2/15	13,472	主催:公益財団法人読売日本交響楽団
10	若手演奏家育成/各種コンクール支援: ◎ ①第41回かながわ音楽コンクール ピアノ部門本選 ②第49回 ビティナ・ピアノコンペティション地区本選 ③第58回カワイピアノコンクール全国大会 ④第26回 大阪国際音楽コンクール 神奈川地区本選 ⑤第79回 全日本学生音楽コンクール全国大会in横浜 ⑥第27回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 全国大会 ⑦ヤマハソロコンサート	①6/1 ②7/24、25、31、8/1 ③8/4-6 ④8/27 ⑤11/26-12/3 ⑥1/5-8 ⑦3/25-27	4,405	主催: ①株式会社神奈川新聞社 ②一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 ③カワイ音楽コンクール委員会 ④大阪国際音楽振興会 ⑤株式会社 毎日新聞社 事業本部 ⑥シヨパン国際ピアノコンクールinASIA組織委員会(有限会社アイエムシー音楽出版) ⑦ヤマハミュージックジャパン横浜みなとみらい
11	オルガン・リサイタル・シリーズ48 鈴木雅明 オルガン・リサイタル	6/5	1,517	
12	Voctave(ヴォクターヴ)～夢の国のヴォイス・オーケストラ～ ◎	6/10	895	主催:プロ・アルテ・ムジケ 後援:アメリカ大使館、全日本合唱連盟

13	インクルージョン事業 ◇ ①ミュージック・イン・ザ・ダーク間に響く音 ②ミュージック・イン・ザ・ダーク間に響く音 鑑賞ワークショップ ③ミュージック・イン・ザ・ダーク間に響く音 福井連携 ④シニアのための「だれでもピアノ®」レッスンカフェ (レッスン 会場:横浜みなとみらいホール 6階事務室、成果発表会 会場:横浜役所アトリウム)	①②2/7 ③6/13、8/28、11/7、3/15 ④12/11、18、25、1/8、15、22、2/3	973	①②主催:横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) 協力:東京藝術大学、横浜能楽堂 助成:・文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化機能強化推進事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業]) 独立行政法人日本芸術文化振興会 ・神奈川県マグカル展開促進補助金 ③主催:福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい(公益財団法人 福井県文化振興財団) 監修:横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) ④共催:東海国立大学機構 名古屋大学大学院医学系研究科附属健康医療ライフデザイン統合研究教育センター(C-REX) 協力:医療法人五一六五 ナゴヤガーデンクリニック、株式会社ヤマハ、東京藝術大学、後援:横浜市
14	オルガン・1アワーコンサート(第8回～第10 回) ①今井奈緒子 ②富田一樹 ③山田由希子	①7/16 ②10/22 ③2/26	2,908	助成:文化庁芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化]) 独立行政法人日本芸術文化振興会 協賛:ヤマハミュージックジャパン横浜みなとみらい
15	山根一仁 J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲演奏会	7/29	405	
16	横浜みなとみらいホール オープンデー「みなとみらい遊音地」 ◎◇ ①「はじめてのパイプオルガン」 ②オルガン&ホール探検! ③おやこオペラ教室2025(2回) ④「ルーシーを奏でる幸せな10分」 ⑤ハマのJACKのおんがくベビーランド ⑥ハマのJACKのおんがくファミリーランド(2回) ⑦だれでもピアノ®体験 ※期間中の「オルガン1ドルコンサート」「金の卵見つめました。演奏会」「JACK賞受賞者コンサート」「SuperBigBandコンサート」は各事業の欄に掲載	①8/7 ②8/8 ③8/9 ④8/9 ⑤8/10(1歳2歳、0歳1回、2歳2回) ⑥8/10 ⑦8/8-10	2,874	③協力:NPO法人横浜シティオペラ、⑤⑥主催:NPO法人ハマのJACK、共催:横浜みなとみらいホール(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 助成:文化庁芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化]) 独立行政法人日本芸術文化振興会
17	横浜みなとみらいホール コンポーザー2025-2027 梅本佑利 音MAD ～デジタル・マキシマリズムと音楽～	9/11	185	助成:公益財団法人かけはし芸術文化振興財団、文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業[地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業]) 独立行政法人日本芸術文化振興会
18	チョン・ミョンフン指揮 ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ:藤田真央	9/23	1,914	主催:テンポプリモ／神奈川芸術協会
19	横浜WEB ステージ ◎◇ MMグラスパーク 無人オーケストラ体験 会場:グランモール公園 美術の広場	10/13	1,007	主催:ヨコハマミライト実行委員会 共催:横浜市西区 協力:ヤマハ株式会社、株式会社NHKテクノロジーズ、Ram Air, LLC 技術:エスイーディー株式会社
20	阿部加奈子 指揮/作曲 横浜みなとみらいホール特別演奏会 神奈川フィルハーモニー管弦楽団～オルガン“LUCY”プロジェクト～ ◎◇ ① 特別支援学校向け公開リハーサル	11/1 ①10/31	1,343	助成:令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団
21	ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン 2025 大和ハウス Special クリスティアン・ティレマン指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団	11/10	1,824	共同主催:公益財団法人サントリー芸術財団 特別協賛:大和ハウス工業株式会社 後援:オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム東京
22	第43回横浜市招待国際ピアノ演奏会 ◎ 【演奏会】 サン・ジッタカーン、ジャン＝ポール・ガスパリアン、ヨナス・アウミラー、田所光之マルセル(ピアノ) 【関連事業】 ①ブレイvent(トークイベント) ②ブレイvent 出演者によるミニ・コンサート ③取材会 ④小・中学生との交流会「ピアニストってどんな人?～若手アーティストと子どもたちとの交流ワークショップ～」 ⑤特別レクチャー「ピアノの学びの限界を突破する:脳と身体観の観点から」 ⑥選考委員会	11/16 【関連事業】 ①7/11 ②11/13 ③11/13 ④11/15 ⑤11/16 ⑥12/23	1,331	共催:横浜市 後援:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) 助成:令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 協賛:ヤマハ株式会社、日本ゾーディアック株式会社、株式会社ランディックス、新井隼子 11/13イベント 共催:クイーンズスクエア横浜イベント実行委員会 協力:一般社団法人横浜みなとみらい21
23	反田恭平 ピアノリサイタル 2025	11/30	1,939	主催:横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)／NEXUS
24	新日本フィルハーモニー交響楽団 ◎ ① 文化施設等活用事業コンサート(2回公演) ② CCCクリスマスコンサート<第九・特別演奏会>2025 ③横浜特別演奏会 佐渡 裕×上原ひろみ	①12/2(2回) ②12/19 ③1/30	7,161	主催:公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
25	クリスマス・パイプオルガン・コンサート2025	12/17	1,689	協力:クイーンズスクエア横浜イベント実行委員会 後援:全日本合唱連盟
26	東京交響楽団 ①千住真理子のクリスマス 東京交響楽団クリスマスコンサート2025 ②小山実稚恵(ピアノ)&ユベール・スダーン指揮 東京交響楽団ニューイヤークンサート2026	①12/25 ②1/12	3,736	主催:公益財団法人 東京交響楽団
27	NHK 交響楽団 オーチャード定期 東横シリーズ 渋谷⇄横浜 ①第135回 指揮:トゥワン・ソビエフ	1/11	1,875	主催:Bunkamura 共催:横浜みなとみらいホール 後援:横浜市、協力:(一財)渋谷区観光協会、(公財)横浜市観光協会

28	クラシック・ヨコハマ 生きる ～2026 若い命を支えるコンサート～	1/25	660	主催：株式会社 毎日新聞社
29	国際音楽祭NIPPON ①フェスティバル・オーケストラ ②フェスティバル・オーケストラメンバーによる室内楽ミニコンサート ③室内楽プロジェクト Akiko Plays MODERN with Friends ～中欧の旅 ④室内楽プロジェクト Akiko Plays CLASSIC with Friends ～中欧の旅 ⑤フォーレ室内楽全曲マラソンコンサート ⑥公開マスタークラス	①②2/11 ③2/26 ④2/28 ⑤3/1 ⑥3/2、3	4,931	主催：ジャパン・アーツ 共催：横浜みなとみらいホール（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）
30	①Just Composed 2026in Yokohama—現代作曲家シリーズ— 【関連レクチャー】 ②白石美雪によるJust Composed 2026の楽しみ方	①3/14 ②3/6	336	

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供（定款第4条第1項第2号）

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	第14回 国際シニア合唱祭「ゴールデンウェーブin 横浜」	①4/14 ②4/15 ③4/16	3,897	主催：NPO法人ゴールデンウェーブ、横浜みなとみらいホール
2	みなとみらいSuper Big Band ◎ ①みなとみらいSuper Big Bandコンサート ②ジュニア・ジャズ・フェスティバル2025金沢 ③横浜 JAZZ PROMENAD 街角ライブ ④桜木町駅前広場 グリーンフェスティバル 会場：桜木町駅前広場 ⑤挟間美帆 公開ワークショップ Miho meets みなとみらい Super Big Band ⑥みなとみらいSuper Big Bandコンサート	練習：4月～3月（44回） ①8/10 ②9/14、15 ③10/12 ④11/2 ⑤1/27 ⑥3/12	2,174	②主催：金沢ジャズ・ストリート実行委員会 ③主催：横浜 JAZZ PROMENAD実行委員会 ④主催：桜木町駅前広場活性化委員会（一般社団法人横浜みなとみらい21） 助成：文化庁芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業〔地域の中核劇場・音楽堂等活性化〕） 独立行政法人日本芸術文化振興会
3	金の卵見つめました。 ◎ ①アンサンブル体験&ワンポイントアドバイス ②ヴァイオリン予選 ③ヴァイオリン本選 ④演奏会 ⑤JACK賞受賞者コンサート	①5/3 ②6/15 ③6/22 ④8/9 ⑤8/9	927	主催：特定非営利活動法人ハマのJACK 共催：横浜みなとみらいホール 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業〔地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業〕） 独立行政法人日本芸術文化振興会 後援：横浜市教育委員会 協賛：株式会社日本ヴァイオリン
4	ホールオルガニスト・インターンシップ・プログラム（第21期）	5月～8.4月	2	助成：文化庁芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業〔地域の中核劇場・音楽堂等活性化〕） 独立行政法人日本芸術文化振興会
5	第26回横浜吹奏楽コンクール 高校生の部 B部門 ◎	7/27～31	11,964	主催：横浜吹奏楽連盟（神奈川吹奏楽連盟横浜支部）
6	令和7年度 心の教育ふれあいコンサート ◎	①9/29～10/1 ②10/6～9 ③11/17～19	32,035	主催：横浜市教育委員会
7	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ ①横浜市立本校中学校（合唱） ②横浜市立本校小学校（箏） ③横浜市立盲特別支援学校（ジャズ）	①9/30、10/6、8 ②2/13 ③1/20、21、22	817	主催：横浜市芸術文化教育プラットフォーム 助成：文化庁芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業〔地域の中核劇場・音楽堂等活性化〕） 独立行政法人日本芸術文化振興会
8	10代のためのバイブオルガン・レッスン ◎ ①レッスン ②修了演奏会	①11/2～3/14（15回） ②3/15	307	助成：文化庁芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業〔地域の中核劇場・音楽堂等活性化〕） 独立行政法人日本芸術文化振興会
9	第27回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜 ◎	11/8～9	5,770	主催：日本高等学校吹奏楽連盟
10	第45回ヨコハマ・コーラルフェスト ①1日目 ②2日目 ③3日目	①2/20 ②2/21 ③2/22	1,180	主催：ヨコハマ・コーラルフェスト実行委員会、横浜みなとみらいホール 後援：横浜市

③芸術文化資源の収集、保存及び活用（定款第4条第1項第5号）

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	アーカイブ事業 オルガン・コンサートシリーズ（公演記録）	通年	—	

■横浜能楽堂

令和6年1月1日から大規模改修工事による長期休館。事務所は仮拠点「OTABISHO 横浜能楽堂」へ移転。(休館期間: 令和6年1月1日～令和8年6月頃)

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	OTABISHO 横浜能楽堂オープン1周年記念イベント	4/14-20	—	
2	OTABISHO 横浜能楽堂 動画配信事業 (ランドマークプラザ OTABISHO 横浜能楽堂)	①4/18 ②10/10 ③11/25 ④1/22	—	
3	普及公演「横浜狂言堂」 (①港南公会堂、②港北区民文化センターミズキホール)	①6/8 ②2/8	623	①後援: 港南区役所 ②共催: 横浜市港北区民文化センター ミズキホール 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
4	企画公演「遊行の聖 弔いの心」(ランドマークホール)	10/16	212	助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
5	横浜能楽堂本舞台創建150周年企画 「横浜能楽堂の足跡を辿るー根岸・染井」	11/22	14	
6	企画公演「天神さまの芸能」(港南区民文化センターひまわりの郷)	11/29	242	共催: 港南区民文化センター ひまわりの郷 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 協力: 横浜にぎわい座
7	企画公演「復活! 横浜の沖縄芝居」(鶴見公会堂)	12/7	408	後援: 鶴見区 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
8	18区つながる能楽プロジェクト 横浜能楽堂・文庫提携講座「能に映し出される「金沢」の中世」 (神奈川県立金沢文庫)	12/20	65	共催: 神奈川県立金沢文庫 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
9	18区つながる能楽プロジェクト 横浜能楽堂芸術監督 中村雅之が語る「楽器は東へ西へ」～琵琶とマンドリンの不思議な物語～(あーすぶらざ)	1/25	77	主催: あーすぶらざ 共催: 横浜能楽堂
10	普及公演「ランドマーク狂言」(ランドマークホール)	3/11	299	助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	バリアフリー能楽サポート研究会(全6回) ◇ (①②⑤⑥BUKATSUDO、③④オンライン開催)	①4/20 ②4/21 ③6/2 ④7/14 ⑤10/6 ⑥11/17	17	助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
2	OTABISHO 横浜能楽堂 体験講座 「気軽にどうぞ! はじめましての能・狂言」 (ランドマークプラザ)	①5/12 ②5/21 ③7/11 ④7/22 ⑤9/5 ⑥9/24 ⑦1/15 ⑧1/23 ⑨3/11 ⑩3/12	95	助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
3	大学との連携 ①神奈川県立国際日本学部日本文化学科初年度ゼミ ②京都芸術大学通信教育課程芸術学科和の文化コーススクーリング「伝統文化研修」 (ランドマークプラザ OTABISHO 横浜能楽堂)	①5/30、6/13、 7/11 ②5/26	114	
4	18区つながる能楽プロジェクト ◇ 「バリアフリーワークショップ」 (①神奈川県立ライトセンター②障害者スポーツ文化センターラポール上大岡)	①7/4、5 ②11/3、24	53	①共催: 神奈川県立ライトセンター 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 ②共催: 障害者スポーツ文化センターラポール上大岡 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
5	OTABISHO 横浜能楽堂 ビジネスパーソンのための能楽入門(全5回) (①②⑤BUKATSUDO、③横浜にぎわい座、④ランドマークホール)	①7/23 ②8/27 ③9/30 ④10/16 ⑤11/26	24	

- ◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

6	普及公演「こども狂言堂」 ◎ (戸塚区民文化センターさくらプラザ)	8/2	225	共催:戸塚区民文化センターさくらプラザ 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
7	先生のための狂言講座 (戸塚区民文化センターさくらプラザ)	8/2	31	共催:戸塚区民文化センターさくらプラザ 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
8	「こども狂言ワークショップ」入門編(全3回) ◎ (戸塚区民文化センターさくらプラザ)	8/4、5、6	18	共催:戸塚区民文化センターさくらプラザ 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
9	「夏休みこども能楽研究所」 ◎ (ランドマークプラザ OTABISHO 横浜能楽堂)	8/8-11	238	
10	第59回 西区虫の音を聞く会	8/23	118	主催:ふるさと西区推進委員会
11	18区つながる能楽プロジェクト ◎◇ 「バリアフリー能楽ワークショップ」 (横浜国立大学教育学部附属特別支援学校)	10/27	29	助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
12	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ ①青葉台小学校(狂言) ②浦島小学校(太鼓) ③中川西中学校(能)	①11/21 ②12/23 ③1/27(2回)	460	主催:横浜市芸術文化教育プラットフォーム 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
13	「こども狂言ワークショップ」卒業編(全10回) ◎ (戸塚区民文化センターさくらプラザ)	1/8、15、22、 29、2/2、12、 25、3/3、9、 25	5	共催:戸塚区民文化センターさくらプラザ 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
14	横浜能楽堂×横浜赤レンガ倉庫1号館連携企画 講座「能の身体 ダンスの身体」(横浜赤レンガ倉庫1号館)	1/12	66	共催:横浜赤レンガ倉庫1号館 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
15	横浜・紅葉ヶ丘まいらんスタンプラリー「アートな春巡り」	1/31-2/15	136	主催:横浜・紅葉ヶ丘まいらん 協力:伊勢山皇大神宮
16	18区つながる能楽プロジェクト 「能舞台模型キットを作成しよう！」 (パンタグラフのスタジオ)	3/15	15	
17	横浜こども狂言会 ◎ (久良岐能舞台)	3/29	77	助成:文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等 活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	OTABISHO 横浜能楽堂 展示事業 (ランドマークプラザ)	4/1-3/29	24,993	

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	横浜能楽堂アーカイブ事業 過去の公演記録動画等を公開(R6年度2本)	通年	-	

■横浜にぎわい座

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	横浜にぎわい寄席 ◎ 【特別企画】 ①春のこども寄席(四月興行) ②夏のこども寄席(八月興行)	毎月1日-7日 【特別企画】 ①4/6 ②8/3	6,795	
2	企画興行(芸能ホール)四月興行 ①第三十三回 柳家さん喬独演会 ②第四十七回 白酒ばなし ③「横浜愛 名作落語のタベ」シリーズ4公演~その1 にぎわい座 綴帳 のイラストから ④春の小春志 ⑤にぎわい座 志ん輔三味 ⑥林家たい平独演会vol.126「天下たい平」 ⑦第二十三回 コラアゲんはいごうまん・春風亭一之輔 二人会 ⑧三遊亭萬橋・瀧川鯉八二人会	①4/8 ②4/9 ③4/10 ④4/11 ⑤4/12 ⑥4/13 ⑦4/14 ⑧4/15	1,787	

- ◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

3	登竜門シリーズ ①第五回 立川吉笑横浜ひとり会『のげのきち』 ②第十四回 東家一太郎 うたって語って桜木町 ③柳家小ふね勉強会 ハマの小ふね ④野毛のはなみち ～春風亭一花勉強会～ ⑤入船亭扇橋落語会「扇橋夏景色 乃東枯」 ⑥第五回 玉川太福浪曲会 ⑦鈴々舎美馬 横浜独演会 ⑧明日の浪曲シリーズ 第十回 国本はる乃・真山隼人二人会 ⑨第七回 柳家やなぎ勉強会 浜のやなぎ ⑩大航海時代 神田伊織勉強会 ⑪第二回 黒酒ばなし ⑫第二回 野毛のはなみち～春風亭一花勉強会～ ⑬第三回 柳亭信楽勉強会「二刀研磨」 ⑭第二回 鈴々舎美馬 横浜独演会 ⑮明日の浪曲シリーズ 第十一回 国本はる乃・真山隼人二人会 ⑯入船亭扇橋落語会 扇橋冬景色 雉始雛 ⑰第二回 柳家小ふね勉強会 ハマの小ふね ⑱第二回 大航海時代 神田伊織勉強会 ⑲第六回 立川吉笑横浜ひとり会『のげのきち』 ⑳第三回 野毛のはなみち～春風亭一花勉強会～	①4/23 ②4/27 ③5/18 ④5/30 ⑤6/21 ⑥6/22 ⑦6/29 ⑧7/20 ⑨8/17 ⑩8/30 ⑪10/19 ⑫10/29 ⑬11/16 ⑭11/22 ⑮12/20 ⑯1/18 ⑰1/25 ⑱1/31 ⑲2/20 ⑳3/25	1,915	
4	企画興行(のげシャレ) ①真山隼人・上の助空五郎二人会 ②③ダメじゃん小出の黒く塗れ！ Vol.55【星の部】【夜の部】 ④宝井琴鶴 神奈川をよむ シリーズ第十一弾 ⑤第五回 一龍斎貞鏡勉強会～八代目貞山十種に挑む～ ⑥第七回 古今亭駒治・ダメじゃん小出 ただの鉄道好き ⑦⑧だるま食堂の「お～い！ 夏だぞお～！」 ⑨三遊亭とさん、柳亭小燕枝の「ただの野球好き」～横浜愛満載～ ⑩⑪ダメじゃん小出の黒く塗れ！ Vol.56【星の部】【夜の部】 ⑫第四回 野営の勤め～ただのキャンプ好き 再び島へ ⑬第七回 コラアゲンはいごうまん独演会「コラリぼっち」 ⑭第二回 三笑亭夢丸・玉川太福 ただの銭湯好き ⑮⑯だるま食堂単独コントライブ だるまの毛inのげシャレ その23本目 ⑰⑱ダメじゃん小出の黒く塗れ！ Vol.57新春18きつぷ【星の部】【夜の部】 ⑲第六回 玉川太福浪曲会 ⑳第二回 真山隼人・上の助空五郎二人会	①4/26 ②③5/17 ④5/24 ⑤6/28 ⑥7/19 ⑦7/26 ⑧7/27 ⑨8/31 ⑩⑪9/20 ⑫9/21 ⑬9/28 ⑭10/18 ⑮12/27 ⑯12/28 ⑰⑱1/24 ⑲2/21 ⑳3/22	1,919	
5	企画興行(芸能ホール)五月興行 ①柳家三三独演会～柔と剛 2025 ②立川志らく40周年記念公演 ～名人シリーズ:柳橋 金馬 馬生 円生の巻 ③第四十二回 よこはま文菊開花亭 ④横浜にぎわい座 第八十五回 上方落語会 ～我ら第32回彦八まつり実行委員会～ ⑤林家正蔵独演会 ⑥桃花生誕祭 蝶花楼桃花落語会 ⑦⑧志の輔nolにぎわい ⑨第3回 純スカジャン歌謡祭 ⑩第十五回 一朝・一之輔親子会	①5/1 ②5/8 ③5/9 ④5/10 ⑤5/11 ⑥5/12 ⑦5/13 ⑧5/14 ⑨5/15 ⑩5/20	2,887	
6	企画興行(芸能ホール)六月興行 ①立川生志プロデュース 立川流じゃん！！ ②林家たい平独演会vol.127「天下たい平」 ③柳家三三独演会～柔と剛 2025 ④第五回 隅田川馬石・蜷気楼龍玉兄弟会～笑いと人情 ⑤林家彦いち 陽気な一門会 ⑥五街道雲助独演会 ⑦第十三回 わん丈ペイサイド 三遊亭わん丈独演会 ⑧にぎわい座 志ん輔三昧 ⑨柳家権太楼独演会	①6/3 ②6/8 ③6/9 ④6/10 ⑤6/11 ⑥6/12 ⑦6/13 ⑧6/14 ⑨6/15(中止)	1,507	
7	企画興行(芸能ホール)七月興行 ①「横浜愛 名作落語の夕べ」シリーズ4公演～その2 ②第四十一回 にぎわい倶楽部 西のかい枝 東の兼好 ③第三十四回 柳家さん喬独演会 ④扇遊・鯉昇二人会 ⑤柳家三三独演会～柔と剛 2025 ⑥南光一門会 ⑦気になる新作落語家競演！ ⑧よこはま宮治展 ⑨立川志らく40周年記念公演	①7/5 ②7/8 ③7/9 ④7/10 ⑤7/11 ⑥7/12 ⑦7/13 ⑧7/14 ⑨7/15	1,950	
8	企画興行(芸能ホール)八月興行 ①第四十八回 白酒ばなし ②柳家三三独演会～柔と剛 2025 ③にぎわい座 志ん輔三昧 ④林家たい平独演会vol.128「天下たい平」 ⑤横浜にぎわい座 第八十六回 上方落語会 ⑥夏の小春志 ⑦第十六回 東京四派精鋭そろい踏みの会 ⑧第四十三回 よこはま文菊開花亭 ⑨第四十六回 柳亭市馬独演会	①8/5 ②8/8 ③8/9 ④8/10 ⑤8/11 ⑥8/12 ⑦8/13 ⑧8/14 ⑨8/15	2,372	

9	企画興行(芸能ホール)九月興行 ①立川吉笑真打昇進披露公演 ②第十六回 一朝・一之輔親子会 ③第八回 三二郎・小痴楽二人会 ④立川志らく40周年記念公演 ⑤柳家三三独演会 ⑥柳家花緑独演会 ⑦桂米團治独演会 ⑧柳家権太楼親子会 ⑨第三回 林家つる子勉強会 つる子の大冒険 ⑩第四十三回 三遊亭兼好 横浜ひとり会 ⑪⑫語継の会	①9/5 ②9/8 ③9/8 ④9/9 ⑤9/10 ⑥9/11 ⑦9/12 ⑧9/13 ⑨9/14 ⑩9/15 ⑪⑫9/16	3,329	
10	企画興行(芸能ホール)十月興行 ①立川生志プロデュース 立川流じゃん!! ②ボカスカジャン結成30周年前夜祭 ボカスカジャン紅白歌合戦 ③第四回 三遊亭天どん一門会 ④笑福亭福笑独演会 十七年目! ⑤柳家三三独演会～柔と剛 2025 ⑥林家たい平独演会vol.129「天下たい平」 ⑦にぎわい座 志ん輔三昧 ⑧立川志の春独演会「にぎわいわいわい秋の会」 ⑨第十九回 五街道雲助一門会	①10/8 ②10/9 ③10/10 ④10/11 ⑤10/11 ⑥10/12 ⑦10/13 ⑧10/14 ⑨10/15	2,091	
11	企画興行(芸能ホール)十一月興行 ①柳家権太楼独演会 ②「横浜愛 名作落語のタベ」シリーズ4公演～その3 横浜ゆかりの噺 ③横浜にぎわい座 第八十七回 上方落語会 ④第6回 寄席漫才のソコチカラ ⑤第四十四回 よこはま文菊開花亭 ⑥三遊亭萬橋・瀧川鯉八二人会 ⑦立川志らく40周年記念公演 ～談志縁の噺家集(小さん 志ん朝 小三治 園楽) ⑧蝶花楼桃花落語会「桃花秋穫祭」 ⑨宝井琴鶴 古典みち ⑩柳家三三独演会～柔と剛 2025	①11/8 ②11/8 ③11/9 ④11/10 ⑤11/11 ⑥11/12 ⑦11/13 ⑧11/14 ⑨11/15 ⑩11/15	2,023	
12	ヨコハマダンスコレクション2025 ①コンペティションⅡ 新人振付家部門 ②ダンスクロス 大森瑤子『A Park』 Leila Ka『BOUFFÉES』『YOU' RE THE ONE WE LOVE』 ③ダンスコネクション 福永将也『loafer』 WETTRIBUTE『TU YO AWITA Y CHIRIMOYA』 会場: のげシャレー	11/27-12/6 ①11/27、28 ②12/1、2 ③12/5、6	366	主催:横浜赤レンガ倉庫1号館 共催:横浜にぎわい座
13	企画興行(芸能ホール)十二月興行 ①第二十四回 コラアゲんはいごうまん・春風亭一之輔 二人会 ②柳家三三独演会～柔と剛 2025 ③五街道雲助独演会 ④第四十九回 白酒ばなし ⑤冬の小春志 ⑥柳家やなぎ真打昇進披露公演 ⑦年末年始 志ん輔三昧 年末の会 ⑧林家たい平独演会vol.130「天下たい平」 ⑨第十六回 林家正蔵一門会～なな子真打昇進を祝う! ⑩⑪2025クライマックス寄席【昼の部】【夜の部】	①12/5 ②12/8 ③12/9 ④12/10 ⑤12/11 ⑥12/12 ⑦12/13 ⑧12/14 ⑨12/15 ⑩⑪12/31	2,789	
14	企画興行(芸能ホール)正月興行 ①新春特選演芸会① ②新春特選演芸会② ③新春特選演芸会③ ④新春特選演芸会④ ⑤第十四回 わん丈ベイスайд 三遊亭わん丈独演会 ⑥第六回 隅田川馬石・蜷気楼龍玉兄弟会～笑いと人情 ⑦第四十四回 三遊亭兼好 横浜ひとり会 ⑧年末年始 志ん輔三昧 年始の会 ⑨笑福亭鶴光一門会 ⑩柳家三三独演会～柔と剛 2025 ⑪扇遊・鯉昇二人会 ⑫第四十七回 柳亭市馬独演会	①1/1 ②1/2 ③1/3 ④1/4 ⑤1/8 ⑥1/9 ⑦1/10 ⑧1/11(中止) ⑨1/12 ⑩1/13 ⑪1/14 ⑫1/15	2,501	
15	企画興行(芸能ホール)二月興行 ①お笑いぱっちり倶楽部寄席 ②「横浜愛 名作落語のタベ」シリーズ4公演～その4 伊勢佐木町 夢の興行街 ③林家たい平独演会vol.131「天下たい平」 ④柳家三三独演会～柔と剛 2025 ⑤立川生志プロデュース 立川流じゃん!! スペシャル版 立川生志独演会 ⑥横浜にぎわい座 第八十八回 上方落語会～受賞者の会～ ⑦よこはま宮治展 ⑧第四十二回 にぎわい倶楽部 西のかい枝 東の兼好 ⑨第四十五回 よこはま文菊開花亭 ⑩立川志の春独演会「にぎわいわいわい春の会」 ⑪高橋キヨ子 民謡のこころ	①2/6 ②2/7 ③2/8 ④2/9 ⑤2/10 ⑥2/11 ⑦2/12 ⑧2/13 ⑨⑩2/14 ⑪2/15	2,753	

16	企画興行(芸能ホール)三月興行 ①柳家三三独演会～柔と剛 2025 番外編 ②第九回 三四郎・小痴楽二人会 ③林家つる子独演会 つる子の大冒険 ④第四回 玉川奈々福独演会 ⑤第十五回 米紫・吉弥ふたり会 ⑥「志らくベスト63席」～素晴らしき哉！落語国 ⑦第三十五回 柳家さん喬独演会 ⑧五街道雲助独演会 ⑨小春志・桃花 未来の二人 ⑩柳家権太楼独演会 ⑪ボカスカジャン結成30周年 2代目ボカスカジャン襲名披露公演 ⑫⑬志の輔no1にぎわい	①3/3 ②3/4 ③3/6 ④3/8 ⑤3/9 ⑥3/10 ⑦3/11 ⑧3/12 ⑨3/13 ⑩3/14 ⑪3/15 ⑫3/23 ⑬3/24	3,237	
----	--	--	-------	--

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	鑑賞者育成事業 ◎ ①②「こども寄席」ボックスステージツアー(子ども向け)	①4/6 ②8/3	60	
2	街のにぎわいづくりのための地域との共催事業等 ①第50回 野毛大道芸 ②野毛地区敬老演芸会 ③第25回 アジアいちご基金チャリティ寄席 ④第13回野毛地区親睦カラオケ大会 ⑤野毛地区振興チケットの取扱い	①4/19-20 ②9/21 ③10/18 ④2/23 ⑤10/1-1/31	1,621	主催:野毛地区振興事業協同組合、野毛地区街づくり会
3	貸切公演 ◎ ①神奈川県立水取沢高等学校 ②明德学園 相洋中学校 ③富岡中学校	①5/2 ②10/24 ③2/20	558	
4	公演サポートプログラムによる共催・協力事業等 ①大演芸まつり in 横浜にぎわい座 ②若手住吉踊りの会 オドラク2025 ③遊雀好み 桜木町二人会	①5/26-30 ②10/4 ③7/4、8/1、 9/6、10/3、 11/7、12/6、 1/10、2/2、 3/7	1,918	①主催:一般社団法人日本演芸家連合、横浜にぎわい座 ②主催:オドラク、横浜にぎわい座 ③主催:ショーキャンプ/協力:横浜にぎわい座
5	講座事業 ◎ ①鉄道ものまねワークショップ ②③④マジック体験講座 ⑤⑥寄席文字体験講座 ⑦曲芸ワークショップ	①7/19 ②7/28 ③7/31 ④8/4 ⑤⑥8/4 ⑦8/22	93	
6	アウトリーチ・市民サポーター協働、ほか ①③にしよこ寄席 会場:生活創造空間にし ②本郷ふじやま公園「にぎわい座出前寄席」	①8/2 ②10/25 ③2/28	156	主催: ①③地域活動ホームガッツ・ビーと西 ②本郷ふじやま公園
7	鑑賞者育成事業 ◎ 寄席体験プログラム(協力事業)	①10/2 ②10/6 ③12/2 ④12/4	887	主催:公益社団法人落語芸術協会
8	講座事業 野毛まちなかキャンパス ①「横浜にぎわい座を知る!～野毛の街の演芸場～」ボックスステージツアー ② 落語を楽しむ「壺算」のトリックに挑戦	①11/6 ②11/20	65	主催:野毛地区振興事業協同組合、野毛地区街づくり会、横浜商科大学、横浜にぎわい座
9	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ ①豊岡小学校(寄席演芸) ②深谷小学校(落語)	①12/17 ②1/29	163	主催:横浜市芸術文化教育プラットフォーム
10	展示 ①野毛大道芸開催50回記念 森直実写真展「大道芸人伝」 ②「芸人手ぬぐい展2025」 ③「大山詣りを楽しむ!」 ④「寄席文字体験講座」関連展示『仲良し二人の十八番～立川小春志・蝶花楼桃花』 ⑤ 常設展示リニューアル・プレ展示「横浜ゆかりの演芸家たち」 ⑥寄席Q&A	①3/10-4/23 ②3/2-5/31 ③5/1-9/30 ④8/2-9/30 ⑤10/17-12/9 ⑥1/2-3/31	—	
11	館内装飾 季節に応じたエントランス・2F・ホワイエの装飾	通年	—	
12	落語ゆかりの地を動画でめぐる「芸能散歩」公開中 「百川」全5編、「宿屋の富」全2編、「船徳」全3編、「宿屋の仇討」全4編、「佐々木政談」全2編	通年	—	
13	催事開催に関する相談対応、コーディネート業務	通年	—	

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	電子根多帳(公演情報のアーカイブ)	通年	—	

■横浜赤レンガ倉庫1号館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの女神たち	4/18-5/18	12,707	主催:アール・ヌーヴォーの女神たち実行委員会、tvk(テレビ神奈川)
2	体感するフェアブル昆虫展2025 in 横浜赤レンガ倉庫 ◎◇	7/19-8/24	36,428	主催:ドリームスタジオ
3	赤レンガ・アートプラネタリウム®「星とたたずむ」 ◎◇	7/26-8/24	10,916	主催:有限会社大平技研
4	第8回HOTPOT東アジア・ダンスプラットフォーム 韓国釜山開催 ①梅田宏明『assimilating』 ②小尻健太『Study for Self/portrait 2025』 会場:①Kyungsung University Concert Hall、②釜山駅前広場	9/24-28 ①9/27 ②9/28	1,053	主催:BPAM(釜山)、SiDance(ソウル)CCDC(香港)、ヨコハマダンスコレクション
5	ヨコハマダンスコレクション2025 ①コンペティションⅡ 新人振付家部門 ②コンペティションⅠ ③ダンスクロス 大森瑤子『A Park』 Leila Ka『BOUFFÉES』『YOU'RE THE ONE WE LOVE』 ④ダンスコネクション 福永将也『loafer』 WETTRIBUTE『TU YO AWITA Y CHIRIMOYA』 ⑤小尻健太<SandD>『Engawa, The Self in Season』 ⑥contact Gonzo × TS Crew『Bridging Bridge』 ⑦クラウド・ゲイト・ダンスシアター(雲門舞集)『WAVES』 ⑧Dance meets dance 2 ⑨梅田 宏明『Movers Platform JP2』 ⑩WETTRIBUTEワークショップ ⑪フランスアーティストサロン 会場:②⑤⑥3Fホール、①③④のげシャレ、⑦KAAT神奈川芸術劇場<ホール>、⑧⑩⑪2Fスペース、3Fホワイエ、⑨KAAT神奈川芸術劇場<アトリウム>	11/27-12/13 ①11/27、28 ②11/29、30 ③12/1、2 ④12/5、6 ⑤12/5、6 ⑥12/9、10 ⑦12/13 ⑧11/30、 12/6、7、9、 10 ⑨12/7 ⑩12/7 ⑪12/1	2,441	共催: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、横浜にぎわい座[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団] 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(国際芸術交流)) 独立行政法人日本芸術文化振興会、駐日スペイン大使館、台湾文化部、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター 提携: 横浜国際舞台芸術ミーティング実行委員会、MASDANZA、スタジオアーキタンツ、穂の国とよはし芸術劇場PLAT(豊橋市)
6	アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫『Left Turn』 ◎ アーティスト: 東 春予 【関連イベント】 ①横浜GRITSによるアイスホッケー体験教室 ②宮原知子さんと小尻健太さんによるスケート教室&トークショー	11/29-2/15 【関連イベント】 ①12/27 ②1/24	61,240	主催: 横浜赤レンガ倉庫(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・株式会社横浜赤レンガ)
7	天官賜福展 -天地流光-	12/14-1/12	14,206	主催: アニメ天官賜福展実行委員会
8	第25回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展	1/23-26	712	主催: 京都府福知山市、福知山市佐藤太清記念美術館
9	近藤良平(コンドルズ) × 永積 崇(ハナレグミ) 『great journey 9th』音楽とダンスで巡る旅	3/20-22	583	

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	五大路子ひとり芝居「横浜ローザ」赤い靴の娼婦の伝説	7/4-8	1,364	主催: 一般社団法人横浜夢座
2	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ ① 横浜市立菅田の丘小学校小学校(ダンス) ② 横浜市立勝田小学校(ダンス)	① 8/28、9/4、 11 ② 12/15、17、 18	142	主催: 横浜市芸術文化教育プラットフォーム
3	舞台Zu々10周年記念公演「ダイアナ ～それぞれのダイアナ～」	9/3-15	4,396	主催: Zu々
4	工藤聡 × 平山素子『each other』	9/27、28	180	主催: 特定非営利活動法人アルファルファ
5	横浜JAZZ PROMENADE 2025	10/11-12	862	主催: 横浜 JAZZ PROMENADE実行委員会 助成: 芸術文化振興基金
6	横浜赤レンガ倉庫1号館振付家制度 小尻健太 ①小尻健太 SandD Open Studio 2025 ②講座「能の身体 ダンスの身体」 ③SandD 育成・開発プログラム「SandD LAB. 2026」Creating Dialogue: Motion and Light -振付と照明、創造の対話-	①10/22-26 ②1/12 ③3/3-8	420	主催: SandD ②のみ 主催: 横浜能楽堂
7	ROLLYデビュー35周年記念 ROLLY2.0 —DEAD or ALIVE !—	1/16-18	655	主催: 株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ

◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

8	卒業制作展支援事業 ①女子美術大学プロダクトデザイン専攻卒業制作展2026 ②玉川大学芸術学部卒業制作展・コンサート ③多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻 卒業制作・修了制作展2026 ④多摩美術大学 環境デザイン学科卒業制作展2026 ⑤第23回関東学院大学第 22 回 建築・環境学部 建築・環境学科 建築展 25/26「Avant Garde -私がつくるもの-」	①2/11-15 ②2/19-22 (コンサートは21のみ) ③2/27-3/1 ④3/4-8 ⑤3/11-16	8,161	①主催:女子美術大学プロダクトデザイン専攻研究室 ②主催:アート・デザイン学科造形サポートデスク ③主催:多摩美術大学プロダクト研究室 ④主催:多摩美術大学環境デザイン学科研究室 ⑤主催:関東学院大学 建築・環境学部 建築・環境学科、 共催:関東学院大学 燦葉会 燦建会
9	観光貢献事業 ①横浜赤レンガ倉庫「FLOWER GADEN 2025」 ②ヨコハマフリューリングスフェスト2025 ③Red Brick Breeze 2025 ④横浜オクトーバー・フェスト2025 ⑤クリスマスマーケットin 横浜赤レンガ倉庫	①3/28-4/20 ②4/25-5/6 ③8/2-31 ④9/26-10/13 ⑤11/21-12/25	—	主催:横浜赤レンガ倉庫(株式会社横浜赤レンガ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
10	稲古場サポートプログラム(3Fホール)	通年	3組(10名)	

③芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜フランス月間2025 展覧会『フランス美食の世界～ユネスコ登録15周年の軌跡～』 ※アトリエ『フランス流テーブルコーディネート』	6/28-7/13 ※6/28	4,380	主催:横浜日仏学院

■大佛次郎記念館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	テーマ展示Ⅰ 野尻抱影生誕140年記念「星の文人 野尻抱影の宇宙」 ◎ 【関連企画】 ①100歳の望遠鏡「ロング・トム」で月を観よう!	4/26-8/31 【関連企画】 ①8/1、2	5,129	協力:平塚市博物館
2	大佛次郎賞受賞記念講演会 日比野啓「戦争協力できなかった演劇人ー曾我廼家五郎と長谷川伸」 会場:横浜市開港記念会館	6/1	118	主催:大佛次郎記念館、朝日新聞社
3	テーマ展示Ⅱ 藤井健司×大佛次郎「帰郷 Homecoming —めぐる、めぐる旅の途中で」 【関連企画】 ①お茶会 大佛次郎×藤井健司 ふたつの旅の結び目にお茶 ②シティガイドと歩く 戦後80年/小説『帰郷』の舞台を巡る ③風景印で手紙を出そう!「水曜日のポスト」	9/13-12/7 ①12/6 ②11/4、22 ③9/13-12/7	3,275	①主催:アートギャラリー閑々居 ②主催:NPO法人 横浜シティガイド協会 ③横浜北方郵便局
4	テーマ展示Ⅲ「大佛次郎の愛した猫コレクション展」【大猫展】 【関連企画】 ①横浜人形の家相互来館特典 ②2月22日は猫の日	1/4-R8.4/19 ①1/4-6/28 ②2/22	8,264	参加者数は、4/19までの全会期の人数

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	大佛次郎研究会公開発表会 ①会場:神奈川近代文学館ホール ②会場:大佛次郎記念館 サロン	①5/24 ②11/23	51	主催:大佛次郎研究会 共催:大佛次郎記念館
2	デモ・ビブリオバトル ◎ ①横浜市学校司書研修(横浜市横浜花咲ビル) ②横浜市立北方小学校 ③横浜市立元街小学校 ④横浜市立東戸塚小学校	①9/24 ②11/5(4年生) ③11/7(4-6年生) ④12/1(図書委員会)	490	
3	大佛次郎記念館ビブリオバトル・シリーズ2025 ◎ ①みんなのビブリオバトル(小学生以上対象) ②中高生ビブリオバトル ③第13回ミニ・ビブリオバトル(小学4年～6年生)	①9/27 ②11/2 ③11/29	22	①ビブリオバトル普及委員会
4	近隣施設との連携 ◎ ①ミュージアム・ミッション2025 ②山手西洋館/ハロウィンウォーク ③横浜山手芸術祭	①7/19-8/31 ②10/26 ③1/22-2/24	835	①共催:神奈川県立歴史博物館 ②主催:公益財団法人横浜市緑の協会 ③主催:横浜山手芸術祭実行委員会
5	大佛次郎×ねこ写真展2026	1/4-R8.4/19	8,264	参加者数は、4/19までの全会期の人数
6	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ 横浜市立南台小学校	1/26	89	主催:横浜市芸術文化教育プラットフォーム

- ◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	和室公開 ①秋 ②春	①11/21-12/7 ②3/19-R8.4/10	—	参加者数はテーマ展示観覧者数に含む

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	書棚特集コーナー ①「激流～渋沢栄一の若き日」 ②「大佛次郎とサン・テグジュペリ『星の王子さま』」 ③「大佛次郎が見た「帰郷」の舞台」 ④「大猫展関連展示」	①-6/12 ②6/13-8/31 ③9/13-12/7 ④1/4-R8.4/19	—	②横浜フランス月間2025 関連プログラム
2	愛蔵品コーナー ①「大佛次郎と横浜浮世絵—開化期横浜への関心」 ②「大佛次郎『大楠公』の挿絵画家 荒井寛方とインド」	①R6.11/26-1/30 ②1/31-R8.12/27	—	
3	資料収集・保存・修復・活用・データベース整理等	通年	—	

⑤芸術文化振興に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	おさがり選書第30集刊行事業	通年	—	

■横浜市民ギャラリー

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	新・今日の作家展2025 穿ちの表象 畑山太志、早川祐太、松原茉莉 【関連企画】 ①対談「あいまいな物質、行為と観測」 松原茉莉×飯田竜太(美術家／彫刻家／Nerhol) ②対談「現実と生まれかわる」 畑山太志×沢山遼(美術批評家／武蔵野美術大学准教授) ③対談「さわれない世界のさわりかた」 早川祐太×伊藤亜紗(美学者) ④出品作家3名によるギャラリーツアー ⑤学芸員によるギャラリートーク ⑥出品作家3名によるクロージングトーク	9/13-10/6 【関連企画】 ①9/15 ②9/27 ③10/4 ④9/13 ⑤9/20 ⑥10/6	4,445	助成:公益財団法人野村財団
2	いりぐちギャラリー ①vol. 5 作って、演じて、聴いて、話して —「横浜子ども美術展」の関連イベント ②vol.6 広く示す／動向を捉える —「今日の作家展」のキュレーション ③vol.7 姉妹・友好都市との国際交流展 —横浜から世界へ、世界から横浜へ	①R7.3/25-8/17 ②8/19-1/11 ③1/13-R8.9/6	—	

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	大人のためのアトリエ講座 ①ヌードクロッキーAコース ②色を楽しむ! 油絵具でモノタイプ版画 ③藍の生葉染めをしよう ④講師と学ぶクロッキーの基本 ⑤レクチャー はじめての現代アート ⑥ヌードクロッキー Bコース ⑦ヌードクロッキー Cコース ⑧手製本でつくる糸綴じのスケッチブック ⑨講師と学ぶ和装クロッキー ⑩はじめての油絵 ⑪レクチャー 漫画で記憶を描きとめる～ヒサクニヒコの横浜の記憶～	①4/25、5/2、9、16 ②6/1 ③6/14 ④6/19、26 ⑤9/6 ⑥11/13、20 ⑦12/11、18 ⑧12/21 ⑨1/22、29 ⑩2/1 ⑪2/21	246	

- ◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

2	ハマキッズ・アートクラブ ◎ ①えのぐであそぼう1 ②えのぐであそぼう2 ③サンキャッチャーをつくろう ④油絵に挑戦！ ⑤ゆれるかたちをつくろう ⑥宝石箱をつくろう ⑦トートバッグをつくろう ⑧声を描いてみよう ⑨紙でどうぶつをつくろう ⑩横浜市民ギャラリーまると探検ツアー	①4/27 ②5/18 ③6/7 ④6/21 ⑤8/23 ⑥11/30 ⑦12/6 ⑧1/25 ⑨2/7 ⑩3/1	170	
3	横浜市こどもの美術展2025 ◎ 【関連企画】 ①こどものためのコレクション展「わくわくびじゅつ！」 ②自由参加ワークショップ「キラキラバッジをつくろう」 ③「ききたがりお兄さん＆お姉さんと話そう！」 ④「コロロとたからさがし」 ⑤「60周年記念音楽会 ユムンドノーボぼこブヨ〜ダンがやってくる！」	7/18-27 【関連企画】 ①②④7/18-27 ③7/19、20、26、27 ⑤7/26	14,920	協賛：学校法人 岩崎学園 後援：横浜市教育委員会
4	ボランティア、インターンシップ活動 ◎ ①横浜市こどもの美術展2025ボランティア ②横浜市民ギャラリーコレクション展2026鑑賞サポーター ③インターンシップ(1.子ども向け事業企画・運営(教育普及)、2.学芸業務活動)	①7/18-27 ②1月-3月 ③通年	48	
5	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ ①横浜市立六浦南小学校(造形) ②横浜市立元街小学校(造形) ③横浜市立川井小学校(造形)	①10/21、22、23 ②11/28 ③1/21、28	160	主催：横浜市芸術文化教育プラットフォーム

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜・紅葉ヶ丘五館連携事業「横浜・紅葉ヶ丘まいらん」 ◎ ①「まいらんさんぽ」紅葉ヶ丘の文化施設を巡るガイドツアー 会場：県立音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜市民ギャラリー、OTABISHO横浜能楽堂 ②「紅葉ヶ丘まいらん アートな春巡り」 会場：県立音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜市民ギャラリー、OTABISHO横浜能楽堂、伊勢山皇大神宮 ③神奈川県立青少年センター子どもフェスティバル 出張ワークショップ「つくってあそぼう！ー からころ キラキラ 手のひら うちゅうー」 会場：県立青少年センター	①12/4 ②1/31-2/15 ③2/8	273	①主催：神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂 共催：NPO法人横浜シティガイド協会 ②主催：神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂 協力：伊勢山皇大神宮 ③主催：神奈川県立青少年センター
2	ガイドツアー&ミニ講座 「戦後の横浜風景 ～絵＆写真で辿る伊勢佐木・日ノ出町・野毛～」	3/7	43	主催：NPO法人横浜シティガイド協会 共催：横浜市民ギャラリー
3	若葉町・黄金町地域連携 井戸端会議 会場：若葉町ウオーフ	通年(通常隔週火曜日)	—	連携：若葉町ウオーフ、ほか
4	アートなお散歩支援事業 ・野毛山幼稚園 ・マイ・ハート紅葉ヶ丘保育園 ・クラウン保育園	通年	12	

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜市民ギャラリー所蔵作品セレクション 映像による所蔵作品の紹介(館内、送迎車、web)	7/15-	—	
2	横浜市民ギャラリーコレクション展2026 戦後をあゆむ ◎◇ 【関連企画】 ①レクチャー「漫画で記憶を描きとめる〜ヒサクニヒコの横浜の記憶〜」(再掲) ②担当学芸員によるギャラリートーク ③朗読とお話「戦後を生きた女性たち」 ④ハマキッズ・アートクラブ「横浜市民ギャラリーまると探検ツアー」(再掲) ⑤おしゃべりの日@コレクション展 ⑥ガイドツアー&ミニ講座「戦後の横浜風景 ～絵＆写真で辿る伊勢佐木・日ノ出町・野毛～」(再掲) ⑦出張！集いと語らいの場&コレクション展ゆつたり鑑賞会@横浜市民ギャラリー	2/20-3/8 【関連企画】 ①2/21 ②2/23 ③2/28 ④3/1 ⑤3/1、8 ⑥3/7 ⑦3/4	5,084	協力：8・15朗読・収録プロジェクト実行委員会／株式会社今人舎、大佛次郎記念館
3	コレクション管理(環境維持)	通年	—	
4	コレクション管理(所蔵作品管理、調査研究、修復)	通年	—	
5	出品・収蔵作家／関係者インタビュー 新・今日の作家展3名、所蔵作家4名(2名は収録のみ)	通年	—	
6	事業アーカイブ構築	通年	—	

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」の発行	通年	—	横浜画廊散歩(隔月1回)(計年6回) アートヨコハマ(年3回) ヨコハマ・ギャラリー・マップ(年1回)

⑥その他芸術文化振興を推進するための事業(定款第4条第1項第9号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	野毛まちなかキャンパス 横浜市民ギャラリー講座 「横浜市民ギャラリーの所蔵作品からみる戦争」	12/8	13	主催:野毛地区振興事業協同組合、野毛地区街づくり会、横浜商科大学

■横浜市民ギャラリーあざみ野

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	フェローアートギャラリー ◇ ①vol.55 青木優 展 ②vol.56 河村嘉英 展 ③vol.57 風香 展 ④フェローアートギャラリー エクステンション 青木優 展 会場:青葉区民文化センターフィリアホール通路	①4/30-7/21 ②9/24-12/7 ③12/21-3/8 ④7/23-9/22	—	④共催:青葉区民文化センターフィリアホール
2	【企画展】あざみのこどもぎやらい2025 ふしぎのでいりぐち ◎ 【関連事業】 ①"ヘンテコいきもの" のワンダーマニション ②みんぐるりんごワークショップ「フルーツキッズはじめての海」 ③ふしぎのあざみ野ナイト みんぐるりんご 空気でふくらむエアドーム ④ふしぎのあざみ野ナイト いとい ゆき イラスト似顔絵イベント ⑤ふしぎのあざみ野ナイト いとい ゆき イラストサイン会 ⑥ふしぎのあざみ野ナイト おおしまたくろう ライフパフォーマンス かんしょうシート(無料)配布 作家インタビュー動画配信(4本)	7/25-8/3 【関連事業】 ①7/27 ②会期中 ③8/3 ④8/3 ⑤8/3 ⑥8/3	3,361	
3	ロビー活用プログラム ◎ ①市ケ尾高校ダンスパフォーマンス ②都筑太鼓演奏・獅子舞	①8/17 ②1/11	289	主催:アートフォーラムあざみ野(男女共同参画センター横浜北、横浜市民ギャラリーあざみ野)
4	ショーケースギャラリー ◎ ①古屋湖都美展 ②濱田晋展 【関連事業】 ③いつものモノが、アートにへんしん! ④HAMADA ARCHITECTS™プロトタイプをつくる 作家インタビュー動画配信(2本)	①9/14-12/20 ②1/10-3/15 ③12/6 ④2/8、15	10	①協力:THE POOL、香村ひとみ ②協力:梅川元一、加納大輔、中村彩梨、水内実歌子、有限会社日光堂、Hand Saw Press、NEUTRAL COLORS
5	【企画展】あざみ野コンテンポラリーvol.16 ◎ 「庄司朝美 トビシより愛を込めて」 【関連事業】 ①アーティストトーク 出演:庄司朝美 ②鑑賞+ワークショップ「窓ごしスケッチー ガラスに描き、うつしとる絵」 ③対談 出演:庄司朝美、岩瀬貞哉(「美術手帖」総編集長) ④担当学芸員によるギャラリートーク ⑤庄司朝美とジョージアのスプラを体験! パンフレット(有料) 作家インタビュー動画配信(1本)	10/11-11/3 【関連事業】 ①10/11 ②10/18 ③10/25 ④10/26 ⑤11/1	1,444	主催:横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)、公益財団法人東急財団 助成:芸術文化振興基金
6	あざみ野サロン 映画上映「カラフルな魔女 角野栄子の物語が生まれる暮らし」	10/26	154	主催:男女共同参画センター横浜北、共催:横浜市民ギャラリーあざみ野
7	「6steps 6段の階段+振付書+演出から生まれるダンス『リフト』」上演 【関連事業】 ①「6steps」を置いてみる-横浜市民ギャラリーあざみ野編-(「6steps / 6段の階段」設置)	1/21-1/25 ①1/25	95	主催:6steps 共催:横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 助成:公益財団法人セゾン文化財団
8	【企画展】あざみ野フォト・アニュアル2026 企画展「上原沙也加 たとえすべての瓦礫が跡形もなくきれいに片付けられたとしても」 【関連事業】 ①アーティストトーク 出演:上原沙也加 ②対談 上原沙也加×長島有里枝 ③担当学芸員によるギャラリートーク パンフレット(有料) 作家インタビュー動画配信(1本)	1/24-2/22 【関連事業】 ①1/24 ②2/14 ③2/7	1,985	助成:公益財団法人野村財団 協力:MISA SHIN GALLERY

- ◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

9	【企画展】あざみ野フォト・アニュアル2026 開館20周年記念 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 「Mr.ネイラーの驚異の部屋」 【関連事業】 ①【特別展示】鈴木 のぞみ ②レクチャー「アメリカ初期写真 三都歴史めぐり」 ③担当学芸員によるギャラリートーク ④ワークショップ「写真が生まれた時代のフォトジェニック・ドローイング」 パンフレット(無料)	1/24-2/22 【関連事業】 ①会期中 ②1/31 ③2/7 ④2/11	1,996	協力:城西国際大学メディア学部、POETIC SCAPE
---	--	--	-------	------------------------------

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・ 入場者数	備考
1	子どものためのプログラム ◎ 「あざみ野親子のフリースゾーン」	4/12、15、27、 5/13、18、24、 6/12、22、 7/10、13、 8/11、21、30、 9/11、23、28、 10/7、19、 11/8、16、27、 12/7、18、 1/11、29、 2/15、19、 3/8、20、24	3,337	
2	ラーニングプログラム [アトリエクロッキー] ①「着衣クロッキー」Aコース ②「着衣クロッキー」Bコース ③「ヌードクロッキー」Aコース ④「着衣クロッキー」Cコース ⑤「ヌードクロッキー」Bコース ⑥「ヌードクロッキー」Cコース ⑦「着衣クロッキー」Dコース ⑧「ヌードクロッキー」Dコース 【講座】 ⑨陶芸の時間「手びねり体験！土にさわる」 ⑩陶芸の時間「手びねり+白化粧体験！手で仕上げる」 ⑪世界を魅了した横浜の工芸 ⑫認知症の方にやさしい空間づくりの工夫と実例 ⑬ニュータウン路上観察 ⑭パーソナル・ジオグラフィック ⑮アートライティング実践 ⑯HAMADA ARCHITECTS(TM)プロトタイプをつくる	①4/16、30、 5/7、21 ②6/5、12 ③7/5、12 ④9/11、18 ⑤10/17、24 ⑥11/5、19、 12/3、17 ⑦1/17、24 ⑧2/20、27 ⑨5/17午前、 午後 ⑩6/14、21 ⑪4/12 ⑫9/20 ⑬11/8、15、 29 ⑭12/13、19、 23 ⑮1/28、2/4 ⑯2/8、15	425	⑫⑬⑭助成:一般財団法人地域創造
3	子どものためのプログラム ◎◇ 親子で造形ピクニック(個別支援学級、特別支援学校等に通う子どもとその保護者対象)	①4/19 ②5/10 ③6/7 ④7/5 ⑤8/16 ⑥9/20 ⑦10/25 ⑧11/22 ⑨12/13 ⑩1/17 ⑪2/7 ⑫3/14	309	
4	子どものためのプログラム ◎ ①この材料で、なにができる？「マスキングテープ」 ②「じぶんのいろをつくろう」 ③「かみであそぼう」 ④ファミリープログラム1「にじいろのトンネル:いろどる」 ⑤ファミリープログラム1「にじいろのトンネル:ふくらます」 ⑥「油絵をかこう」 ⑦「えのぐであそぼう」 ⑧「トンカチで木にくぎを打とう」 ⑨この材料で、なにができる？「えのぐがついた紙」 ⑩「やきものでキャンドルホルダーをつくろう」 ⑪「いつものモノが、アートにへんしん！」(再掲) ⑫ファミリープログラム2「クリスマスかざりをつくろう」 ⑬この材料で、なにができる？「カラフルなシール」 ⑭「クレイアニメをつくろう」 ⑮「木のはんこでかたちをかこう」	①4/20 ②5/18 ③6/22 ④7/12 午前 ⑤7/12 午後 ⑥8/23、30、 9/6、13 ⑦9/28 ⑧10/19 ⑨10/26 ⑩11/16(展 示12/16- 21) ⑪12/6 ⑫12/14(2回) ⑬1/18 ⑭2/21 ⑮3/8	465	

5	造形活動による学校支援「アトリエ学校利用」 ◎◇ ①横浜市立山内小学校個別支援学級 ②横浜市立あざみ野第二小学校個別支援学級 ③横浜市立北綱島特別支援学校 ④横浜市立荏子田小学校個別支援学級 ⑤横浜市立篠原小学校個別支援学級 ⑥横浜市立東市ケ尾小学校個別支援学級	①5/27、29 ②6/10 ③6/27 ④9/30 ⑤10/16 ⑥10/31、 11/18	241	
6	写真ワークショップ「とことこ調査団 まちのかたち」 ◎ ①横浜市立山内小学校(5年生) ②ZINE配布	①6/6、17、 26、7/7、15 ②11/25、26、 28	342	
7	あざみ野フェローマルシェ	①6/6、7 ②10/25、26 ③1/17、18	7,124	
8	開館20周年記念ワークショップ〈表現と生活をめぐる〉 ◎◇ vol.1 アートフォーラムあざみ野を“とびっきり居心地の良い場所”にするには？	7/5、20	40	協力：男女共同参画センター横浜北、神奈川大学建築学部[まち再生コース]まちづくり研究室 助成：一般財団法人地域創造
9	第10回あおば美術公募展	7/5-13	2,461	主催：あおば美術公募展実行委員会(青葉区役所)
10	「めぐる布市 布が紡ぐ物語 リユース×アートの可能性」森ノオト×横浜美術大学×アートフォーラムあざみ野	7/24-26	3,309	①②主催：アートフォーラムあざみ野(男女共同参画センター横浜北、横浜市民ギャラリーあざみ野)、NPO法人森ノオト ①②協力：横浜美術大学
11	アートサポーター事業 (あざみ野こどもぎやらい2025での活動)	7/25、26、27、 29、30、31、 8/1、2、3	9	
12	中学校美術科研修・横浜市民ギャラリーあざみ野 ◎ 教師のためのワークショップ 「アニメーションで教えるために～体験して学ぶ、動きで伝わる表現の指導法～」	8/1(2回)	45	共催：横浜市教育委員会事務局学校経営支援課
13	開館20周年記念ワークショップ〈表現と生活をめぐる〉 ◎◇ vol.2 住むまちを自分で面白くして、もっと好きになる	8/6	6	主催：横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)、あおばコミュニティテラス(NPO法人まちと学校のみらい) 助成：一般財団法人地域創造
14	アート+認知症【アウトリーチ】 ◇ ①GrASP ②荏田ケアプラザ ③グランダあざみ野 ④荏田コミュニティハウス	①8/19、 12/11、16 ②8/22 ③8/29 ④9/4	125	共催：GrASP株式会社、横浜市荏田地域ケアプラザ、リハビリホームグランダあざみ野、荏田コミュニティハウス(公益社団法人横浜市民施設協会) 協力：やさしい街あざみ野実行委員会 助成：一般財団法人地域創造
15	開館20周年記念ワークショップ〈表現と生活をめぐる〉 ◎◇ vol.3 子どもたちが“ゆっくり・じっくり学ぶ”を地域でつくるには？	8/28	24	助成：一般財団法人地域創造
16	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ ①横浜市立新吉田小学校(資材再利用ワークショップ) ②横浜市立つじが丘小学校(資材再利用ワークショップ) ③横浜市立すみれが丘小学校(資材再利用ワークショップ)	①10/23、 11/6、7 ②11/10、11、 21 ③11/12、26、 28	715	主催：横浜市芸術文化教育プラットフォーム
17	アートフォーラムあざみ野20thアニバーサリー ◎◇ ①企画展「あざみ野コンテンポラリーvol.16 庄司朝美 トビシより愛を込めて」入場無料デー(2日間)※再掲 ②対談 庄司朝美×岩淵貞哉(「美術手帖」総編集長)※再掲 ③担当学芸員によるギャラリートーク※再掲 ④映画上映「カラフルな魔女～角野栄子の物語が生まれる暮らし～」※再掲 ⑤あざみ野フェローマルシェ※再掲 ⑥障がいのある子どもたちのための親子で造形ピクニック※再掲 ⑦ワークショップ「この材料でなにができる？ 材料：えのぐがついたかみ」 ⑧おはなしアトリエみも座 人形劇「アヒルとキツネ」 ⑨ちびっこ消防士になろう！～アートフォーラムあざみ野に消防車がやってくる！ ⑩ひろばdeアート～家族で思い出の写真を撮ろう！ ⑪絵本の読み聞かせと家族のパートナーシップ ～子どもが生まれて変わった？わたしの大切にしたいこと～ ⑫産前産後体験ゲームとお仕事占い	10/25、26 ①⑤10/25、 26 ②⑥⑧10/25 ③④⑦⑨⑩ ⑪⑫10/26	653	主催：男女共同参画センター横浜北、横浜市民ギャラリーあざみ野
18	青葉区民芸術祭作品展	11/26-12/1 12/3-12/8	3,123	主催：青葉区民芸術祭運営委員会(青葉区役所)
19	開館20周年記念ワークショップ〈表現と生活をめぐる〉 ◇ vol.4 認知症の人にやさしい街あざみ野で、趣味や遊びを通じたケアを広げるには？	12/9	31	主催：やさしい街あざみ野実行委員会、横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 助成：一般財団法人地域創造
20	教師のためのプログラム連携「第8回横浜市中学校アニメーションフェスティバル」 ◎ 会場：横浜市庁舎1Fアトリウム	1/17	—	共催：横浜市教育委員会、横浜市立学校総合文化祭実行委員会、横浜市立中学校教育研究会美術科部会
21	横浜市立山内小学校スタンプラリー ◎ 会場：エントランスロビーほか館内	2/2-9	—	主催：横浜市立山内小学校 協力：横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
22	アート+認知症 ガイドライン発行	3/13	—	助成：一般財団法人地域創造
23	あざみ野ロビーピアノプロジェクト	通年(毎週日曜日)	295	

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	Gallery in the Lobby ①カメラのしくみ 2025 ②写真の見え方を広げる道具たち ③アートフォーラムあざみ野20周年特別企画 アニバーサリーとカメラ ④まるい、ながい、おおきい、ちいさい、いろいろな規格のフィルムとカメラ	①5/2-25 ②9/27-10/19 ③10/21-11/9 ④2/28-3/22	—	協力:城西国際大学メディア学部ニューメディアコース
2	カメラ・写真コレクションの保存、修復、研究、データベース管理と公開	通年	—	
3	アーティストインタビュー・アーカイブ ①いといゆき(こどもぎやらい) ②おおしまくろう(こどもぎやらい) ③みんぐるりんご(こどもぎやらい) ④山元南穂(こどもぎやらい) ⑤庄司朝美(コンテンポラリー) ⑥上原沙也加(フォト・アニュアル) ⑦古屋湖都美(ショーケースギャラリー) ⑧濱田晋(ショーケースギャラリー)	通年	—	

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	情報誌「アートあざみ野」発行(年間3回)	vol.70 4/30発行 vol.71 8/31発行 vol.72 12/30発行	—	

■経営企画・ACYグループ

①芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜JAZZ PROMENADE 横浜ジャズ100年記念事業 ①横浜市歌JAZZアレンジ版お披露目公演 会場:横浜役所アトリウム ②フランクフルト・台湾スペシャルステージ 会場:横浜赤レンガ倉庫1号館 【関連企画】 ③「Swingし続ける街 横浜のジャズ100年」 会場: JAZZ SPOT DOLPHY	①7/1 ②10/11 ③9/7	692	①② 主催:横浜 JAZZ PROMENADE 実行委員会 共催:横浜市にぎわいスポーツ文化局 令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業 ③主催:一般社団法人横浜JAZZ協会、横浜JAZZ PROMENADE実行委員会
2	ACYフォーラムvol.5「横浜発の創造性:広がるつながり、新たなチャレンジ」 会場:BUKATDUDO HALL	7/11	59	令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
3	子どもの文化体験推進事業「みちくさ*アート」 ◎ ①平沼小学校放課後キッズクラブ ②山田小学校放課後キッズクラブ ③菊名小学校放課後キッズクラブ ④井土ヶ谷小学校放課後キッズクラブ ⑤新石川小学校放課後キッズクラブ ⑥三ツ境小学校放課後キッズクラブ ⑦吉原すまいる学童 ⑧西本郷小学校放課後キッズクラブ	①7/25、30 ②8/8 ③8/18 ④7/31 ⑤8/4 ⑥8/6 ⑦8/18 ⑧8/20 ⑨8/8 ⑩8/19 ⑪8/20 ⑫8/22	351	主催:みちくさアート事務局(認定NPO法人STスポット横浜、横浜芸術文化振興財団、横浜市にぎわいスポーツ文化局)
4	施設連携事業 ◎ 佐藤雅彦展 新しい×(作り方+分り方) 連動プログラム ①アルゴリズムでおどろう! ②アルゴリズムでおどってみよう! <パレードパフォーマンス>	①8/2 ②10/11	534	①② 主催:公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜美術館 ②協力:横浜 JAZZ PROMENADE 実行委員会
5	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム ◎ ①横浜市立六角橋中学校(合唱) ②横浜市立榎が丘小学校(雅楽) ③横浜市立奈良小学校(演芸) ④横浜市立荏田西小学校(歌曲・合唱)	①9/9 ②11/7 ③11/14 ④11/25	613	主催:横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局(認定NPO法人STスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市にぎわいスポーツ文化局)

- ◎ 子ども対象事業
◇ インクルーシブ(共生社会)事業

6	横濱 JAZZ PROMENADE 2025 会場：(ホール)関内ホール、横浜赤レンガ倉庫1号館、(街角)市内16会場、(ジャズクラブ)市内14店舗 【関連企画】 ①Pre-EVENT「Club 273～横浜の夜景とジャズを堪能～」 会場：横浜ランドマークタワー69階 展望フロア スカイガーデン ②ジャズプロ・サテライト 会場：港北区民文化センター、都筑区民文化センター、栄区民文化センター、鶴見区民文化センター、緑区民文化センター、神奈川区民文化センター、旭区民文化センター、瀬谷区民文化センター、泉区民文化センター、Art Center NEW、港南区民文化センター ③NHK横浜放送局連携企画「はま☆キラ！」Special Jazz Live 会場：NHK横浜放送局 ④横濱ライヴハウス祭 会場：ジャズクラブ参加店舗	10/11、12 【関連企画】 ①9/12 ②9/6、9/13、10/5、10/11、11/15、12/20、10/12、10/13、12/7、10/17、10/18、11/23、12/14、11/30、11/29、10/31 ③10/11 ④9/1-10/31	94,784	主催：横濱 JAZZ PROMENADE 実行委員会 共催：横浜市にぎわいスポーツ文化局 助成：芸術文化振興基金助成事業 【関連事業】 ①主催：横濱 JAZZ PROMENADE 実行委員会 ②主催：各施設、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、共催：横濱 JAZZ PROMENADE 実行委員会 ③主催：NHK横浜放送局 ④主催：横濱ライヴハウス祭実行委員会
7	ACYフォーラムvol.6「くらしと環境をつなぐ、デザインやアートのカ- GREEN×EXPO 2027に向けて-」 会場：ポッシュホール(都筑区民文化センター)	12/7	35	令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
8	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 先生のためのワークショップ 授業づくり講座「雅楽」	1/30	18	主催：横浜市芸術文化教育プラットフォーム 企画制作：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 協力：横浜にぎわい座
9	ジャズ関連事業 YOKOHAMA本牧ジャズ祭 冬の陣 アマチュアジャズバンドフェスティバル vol.14 会場：横浜市開港記念会館	2/1	150	主催：YOKOHAMA本牧ジャズ祭実行委員会 共催：開港記念会館 後援：横浜市中区役所・(公財)横浜市芸術文化振興財団 協力：横濱ジャズプロムナード実行委員会・ロコサトシ
10	相談窓口の運営	通年	-	相談受付：108件

②芸術文化振興のための助成(定款第4条第1項第3号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	2025年度 ACYアーティスト・フェロシップ助成	通年	—	採択件数：4件

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	ミナトノアート2025 会場：みなとみらい線馬車道駅構内	11/22-23	6,000	主催：ミナトノアート実行委員会 共催：横浜市にぎわいスポーツ文化局 令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
2	関内外OPEN!17 ①びっくり！ YOKOHAMA ②つながるデザイン ③関内×寺家 地域交流会 ④アイデアコンポスト ⑤関内外OPEN!展 @象の鼻テラス	①2/12-3/31 ②9/1-2/23 ③11/29 ④10/10、11/3 ⑤2/23	2,195	主催：関内外OPEN!17事務局(関内外クリエイターズ、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 共催：横浜市にぎわいスポーツ文化局 令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
3	ドックヤードガーデン活用事業(BUKATSUDO)	通年	—	

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	横浜みなとみらいホール インクルージョン事業のご紹介・体験と大ホール見学会 ◇ 会場：横浜みなとみらいホール	6/26	18	
2	横浜市クリエイターデータベース	通年	—	
3	Webサイト「ヨコハマ・アートナビ」	通年	—	

⑤芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	令和の横浜使節団 ①第四弾：結城編 ②第五弾：富士吉田編	①5/30 ②12/12	34	主催：株式会社リビタ、アーツコミッション・ヨコハマ
2	横浜国際舞台芸術ミーティング2025(YPAM 2025) ①YPAMディレクション(フォーラム&ディスカッション) ②YPAMショーケース(公演プログラム) ③YPAMフリンジ(公募プログラム) ④YPAMエクスチェンジ(交流プログラム)	11/28-12/14	20,239	主催：横浜国際舞台芸術ミーティング実行委員会 共催：横浜市にぎわいスポーツ文化局

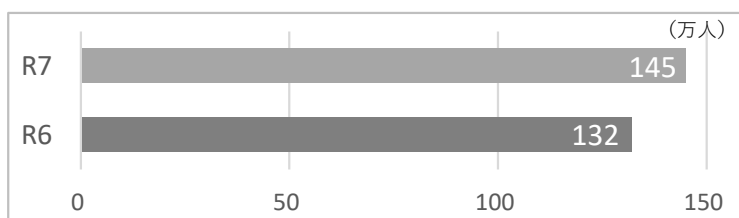
(2)収益事業

	事業名	実施時期	参加者・入場者数	備考
1	駐車場の運営	通年	—	
2	ショップ運営	通年	—	

4 データ集

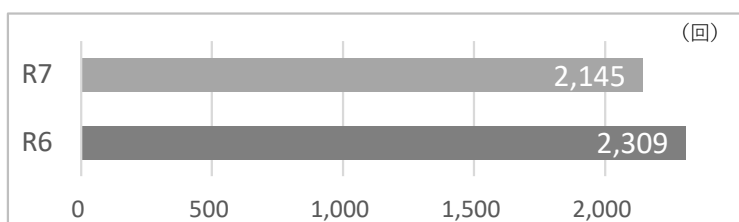
- ・大規模改修工事に伴う長期休館 横浜能楽堂〔令和6年1月1日～令和8年6月頃〕
- ・磯子区民文化センター杉田劇場については、当財団は令和7年度より共同事業体の代表団体から構成団体へ参画形態を変更したため、令和7年度実績（入場者数、事業数および利用状況等）には算入しません。

(1) 事業入場者・参加者数※1: 1,447,602人

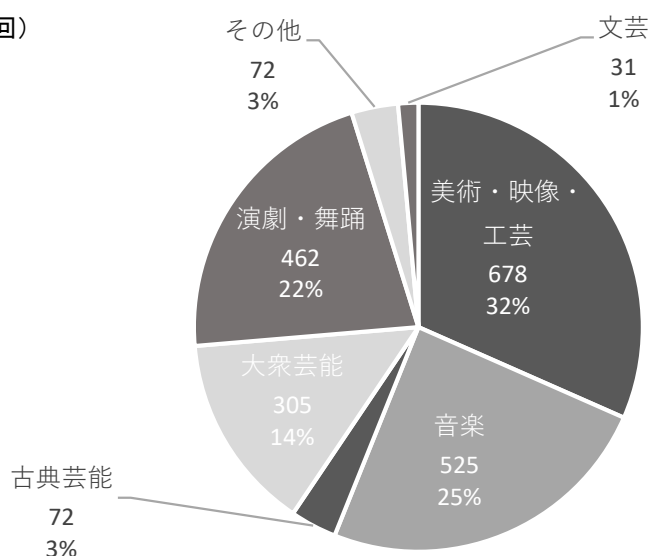


※令和6年度実績1,317,575人のうち、磯子区民文化センター10,541人を含む。

(2) 公演・展示・講座等実施回数: 2,145回



【ジャンル別 内訳】(回)

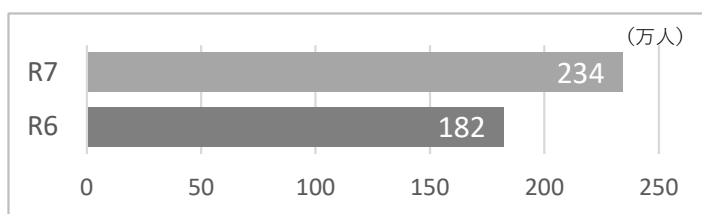


※令和6年度実績2,309回のうち、磯子区民文化センター250回を含む。

(3) 施設利用状況

利用人数※2: 2,338,196人

ホール系施設利用率/日: 75%



※令和6年度実績1,824,648人のうち、磯子区民文化センター67,926人を含む。

(4) 顧客満足度調査(5段階): 4.66(令和6年度 4.70)

※1 主催、共催、協力等への入場者・参加人数。屋外イベント、アウトリーチ等を含む。

※2 施設の全室場の入館、利用人数。貸施設の利用を含む。

5 施設利用状況

- ・大規模改修工事に伴う長期休館 横浜能楽堂 [令和6年1月1日～令和8年6月頃]
- ・磯子区民文化センター杉田劇場については、当財団は令和7年度より共同事業体の代表団体から構成団体へ参画形態を変更したため、令和7年度実績(入場者数、事業数および利用状況等)には算入しません。

(1) 施設利用率、施設利用者数

年度	全施設平均利用率 (ホールのみ集計)	施設利用者数
令和7年度	75%	2,338,196
令和6年度	70%	1,824,648

(2) 施設別利用者数

施設名	令和7年度(人)	令和6年度(人)	増減(人)
横浜美術館	848,859	340,288	508,571
横浜市民ギャラリー	199,674	182,666	17,008
横浜市民ギャラリーあざみ野	69,052	76,127	-7,075
横浜みなとみらいホール	524,629	493,275	31,354
横浜能楽堂	-	-	0
横浜にぎわい座	98,362	96,612	1,750
横浜赤レンガ倉庫1号館	577,237	548,192	29,045
大佛次郎記念館	20,383	19,562	821
(参考) 磯子区民文化センター杉田劇場	-	67,926	-67,926
合計	2,338,196	1,824,648	513,548

(3) ホール系施設の利用率まとめ(日)

※1 横浜美術館 令和6年度は、令和7年2月1日からの利用状況

施設名	室場名	令和7年度	令和6年度
横浜美術館	レクチャーホール	39%	※1 29%
横浜みなとみらいホール	大ホール	98%	94%
	小ホール	96%	95%
横浜能楽堂	本舞台	-	-
横浜にぎわい座	芸能ホール	80%	77%
	小ホール	50%	50%
横浜赤レンガ倉庫1号館	ホール	88%	82%
(参考) 磯子区民文化センター杉田劇場	ホール	-	66%
平均利用率		75%	70%

(4)施設・室場別利用状況

横浜美術館

室場名	区分	利用可能数	利用数	利用率	利用団体数	利用者数
ギャラリー1～7	企画展日数	254	—	—	—	351,705
	コレクション展 日数	254	—	—	—	394,119
ギャラリー8	—	142	—	—	—	14,553
ギャラリー9	開室日数	296	—	—	—	33,254
美術図書室	開室日数	286	—	—	—	14,220
アトリエ	—	—	—	—	—	16,812
レクチャーホール	日	252	98	39%	87	9,151
	時間帯	747	183	24%		
合計		—				833,814

※施設利用者数合計は 848,859

横浜市民ギャラリー

室場名		区分	利用可能数	利用数	利用率	利用団体数	利用者数
展示室	BF1	日	347	325	94%	46	30,591
	1F	日	347	330	95%	50	55,019
	2A	日	347	337	97%	58	51,147
	2B	日	347	338	97%	58	1,717
	3A	日	347	332	96%	56	48,408
	3B	日	347	326	94%	55	4,197
作品保管室		日	347	139	40%	20	1,284
アトリエ		時間帯	694	419	60%	73	7,311
合計			—			416	199,674

横浜市民ギャラリーあざみ野

室場名		区分	利用可能数	利用数	利用率	利用団体数	利用者数
展示室1階	1A	日	335	335	100%	36	30,896
	1B	日	335	335	100%	36	825
展示室2階	2A	日	335	332	99%	38	25,158
	2B	日	335	332	99%	37	1,958
アトリエ		日	343	278	81%	343	10,215
		時間帯	1,023	469	46%		
合計(日)			—			490	69,052

横浜みなとみらいホール

室場名		区分	利用可能数	利用数	利用率	利用団体数	利用者数
大ホール		日	311	305	98%	389	422,532
小ホール		日	328	315	96%	366	72,155
リハーサル室		日	330	203	62%	221	10,026
		時間帯	977	425	44%		
練習室	1	時間帯	983	808	82%	560	2,135
	2	時間帯	983	831	85%	693	2,049
	3	時間帯	979	740	76%	539	2,529
	4	時間帯	980	749	76%	553	2,178
	5	時間帯	982	786	80%	619	3,143
	6	時間帯	983	827	84%	603	1,938
レセプションルーム		時間帯	899	290	32%	136	4,544
6階事務室		日	332	155	47%	570	1,400
合計			—			5,249	524,629

横浜能楽堂

・大規模改修工事に伴う長期休館 [令和6年1月1日～令和8年6月頃]

横浜にぎわい座

室場名		区分	利用可能数	利用数	利用率	利用団体数	利用者数
芸能ホール		日	332	264	80%	299	62,162
小ホール		日	342	172	50%	175	27,631
練習室		時間帯	1,703	1,094	64%	715	4,842
制作室		時間帯	1,705	691	41%	235	3,727
合計			—			1,424	98,362

横浜赤レンガ倉庫1号館

室場名		区分	利用可能数	利用数	利用率	利用団体数	利用者数
ホール		日	303	266	88%	61	127,512
多目的スペース(2F)	A	日	364	314	86%	39	151,690
	B	日	364	312	86%	37	151,687
	C	日	364	298	82%	36	146,348
合計			—			173	577,237

大佛次郎記念館

室場名		区分	利用可能数	利用数	利用率	利用団体数	利用者数
会議室		日	249	107	43%	70	1,504
和室		日	271	84	31%	55	2,850
入館者		開館日数	276	—	—	—	16,029
合計			—			125	20,383

6 顧客満足度調査の概要

(1) 調査概要

■実施期間 令和7年4月～令和8年3月(12か月間)

■実施事業 財団所管施設およびグループで実施した事業

■調査方法 事業参加者への配布、会場に配置したアンケート票への記入、WEBアンケート

■共通質問項目

下記Q1～5を、各施設・グループに共通の質問項目として設定し集計

Q1 全体評価「本日の(事業名)はいかがでしたか」

Q2 接遇等評価「スタッフの対応やサービスはいかがでしたか」

Q3 施設・設備等評価「当館の使い勝手や清潔さなど快適性はいかがでしたか」

Q4 活動ニーズ調査

「今後さらに取り組んでみたい文化活動はどのようなことですか(複数可)」

Q5 居住地調査「どちらからご来場になりましたか」

■選択肢

Q1～3の選択肢

① 満足(5点) ② やや満足(4点) ③ ふつう(3点) ④ やや不満(2点) ⑤ 不満(1点)

Q4の選択肢

① 芸術文化の鑑賞 ② 自演・自作活動 ③ ワークショップ型体験講座等への参加
④ 学習講座・講演会等への参加 ⑤ 事業企画や運営への参画

Q5の選択肢

① 横浜市内 ② 横浜市の外の神奈川県内 ③ 東京都 ④ 埼玉県 ⑤ 千葉県 ⑥ その他

■集計方法

Q1～Q3

(「満足」の回答数×5点+「やや満足」の回答数×4点+「ふつう」の回答数×3点+「やや不満」の回答数×2点+「不満」の回答数×1点)÷(各設問の回答者数－各設問の無回答者数)＝顧客満足度 とする(小数点以下第3位を四捨五入する)

Q4 各選択肢の回答数を合計するとともに、下記により割合を算出

各選択肢の回答数÷(回答者数－Q4の無回答者数)

Q5 各選択肢の回答数を合計するとともに、割合を算出

(2) 調査結果

調査実施事業の参加者数	468,506人
回答者数	10,965人
回収率	2.34%

Q1～3 顧客満足度調査

項目		結果	備考
顧客満足度調査(総合)		4.66	
質問別結果	Q1	4.73	全体評価
	Q2	4.58	接遇等評価
	Q3	4.67	施設・設備等評価

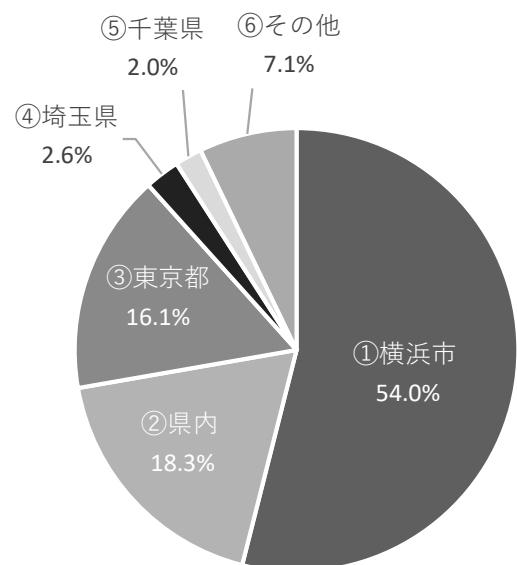
Q4 活動ニーズ調査結果(複数回答可)

選択肢	結果	割合
① 芸術文化の鑑賞	7,686	79.5%
② 自演・自作活動	1,226	12.7%
③ ワークショップ型体験講座等	2,923	30.2%
④ 学習講座・講演会等	2,433	25.2%
⑤ 事業企画・運営	503	5.2%
回答者数－Q4の無回答者数	9,667	

Q5 居住地調査結果

選択肢	結果	割合
① 横浜市内	5,687	54.0%
② 神奈川県内	1,929	18.3%
③ 東京都	1,695	16.1%
④ 埼玉県	269	2.6%
⑤ 千葉県	208	2.0%
⑥ その他	752	7.1%
合計	10,540	100%

Q5 居住地割合



7 協賛・助成・寄附一覧

多くの皆さまからご協賛・助成・ご寄附をいただいて事業を実施しました。

* 50音順、敬称略

協賛企業・団体等		
新井鷗子	李熙健韓日交流財団	学校法人岩崎学園
株式会社浦辺設計	NTTテクノクロス株式会社	大佛次郎研究会
神奈川トヨタ自動車株式会社	キリンビール株式会社横浜支社	株式会社KSP
株式会社湖池屋	小杉法律事務所	株式会社サイバーエージェント
株式会社JVCケンウッド	ジャパンリアルエステイト投資法人	ジョイテック株式会社
立場ないとう内科	ティールーム霧笛	株式会社 電通
日本ゾーディアック株式会社	Piascore 株式会社	株式会社 ビームス
Bloomberg L.P.	ホテルニューグランド	株式会社ボンパドウル
三菱地所株式会社	株式会社美濃屋あられ製造本舗	株式会社ムサ・ジャパン
ヤマハ株式会社	横浜高速鉄道株式会社	ヨコハマコンサルティング株式会社
横浜信用金庫	横浜元町・霧笛楼	株式会社ランディックス
株式会社リワークス		

助成機関等		
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	神奈川県	公益財団法人カメイ社会教育振興財団
駐日スペイン大使館	台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター	台湾文化部
一般財団法人地域創造	独立行政法人日本芸術文化振興会	公益財団法人 野村財団
文化庁	ポーラ美術振興財団	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団
公益財団法人 森村豊明会	公益財団法人吉野石膏美術振興財団	

寄 附		
加藤一	河野建設株式会社	小長井みはる
浄雲会	新興電設工業株式会社	鈴木敦
東芝プラントシステム株式会社	有限会社日本ワールド開発	風越建設株式会社
よこはまシニアボランティアポイント事業(ボランティア登録者15名)		他、匿名3名

8 助成金交付実績

(1) アーツコミッション・ヨコハマ

以下のプログラムを通じ、合計4,000,000円の助成を交付しました。

2025年度 ACYアーティスト・フェローシップ助成

* 50音順、敬称略(単位:円)

No	採択者	活動内容	交付額
1	Aki Iwaya	アーティスト	1,000,000
2	城戸 保	写真作家	1,000,000
3	小林 勇輝	現代美術家・パフォーマンスアーティスト	1,000,000
4	安田 葉	アーティスト	1,000,000

9 後援名義交付実績

横浜市内の芸術文化振興に有意義と認められる行事について、後援名義の使用を承認しました。

	92件
--	-----

10 法人の運営体制の充実を図るための取り組み

(1) 理事会及び評議員会に関する事項

ア 理事会

【第1回】

開催年月日 令和7年6月4日(水)

議案

第1号議案 公益充実資金取扱規程の制定について

第2号議案 令和6年度事業報告及び決算報告について

第3号議案 役員等賠償責任保険契約について

第4号議案 令和7年度第1回評議員会の開催について

報告事項

職務の執行状況について

【第2回】

開催年月日 令和7年6月19日(木)

議案

第1号議案 代表理事及び業務執行理事の選定並びに

代表理事たる理事長及び代表理事たる専務理事の選任について

【第3回】

開催年月日 令和7年12月12日(金)

議案

第1号議案 公益充実資金の設定について

ア 特定費用準備資金から公益充実資金への再編について

イ 公益充実資金の計画変更について

第2号議案 規程の改正について

ア 職員就業規程

イ 職員給与規程

ウ 臨時職員就業規程報告事項

報告事項

ア 中期経営計画(2026-2029)原案について

イ 遺贈寄付の受け入れ方針について

ウ 令和7年度仮決算について

エ 職務の執行状況について

オ 次回の「Live横浜！」について

【第4回】

開催年月日 令和8年3月6日(金)

議案

第1号議案 中期経営計画(2026-2029)について

第2号議案 令和8年度事業計画書、収支予算書及び資金調達及び設備投資の見込みについて

第3号議案 規程の改正について

ア 経理規程

イ 事務決裁規程

第4号議案 令和7年度第2回評議員会の開催について

報告事項

ア 職務の執行状況について

イ 横浜能楽堂の再開館について

ウ 令和7年度の公益充実資金の積立について

イ 評議員会

【第1回】

開催年月日 令和7年6月19日(木)

議案

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 役員(理事及び監事)の選任について

第3号議案 評議員の選任について

報告事項

ア 公益充実資金取扱規程の制定について

イ 役員等賠償責任保険契約について

ウ 横浜美術館「おかえり、ヨコハマ」展について

【第2回】

開催年月日 令和8年3月16日(月)

議案

なし

報告事項

ア 中期経営計画(2026-2029)について

イ 令和8年度事業計画書、収支予算書及び資金調達及び設備投資の見込みについて

ウ 横浜能楽堂の再開館について

(2) 法人内部におけるガバナンス

(ア) 経営会議

開催

- ・毎週水曜日 計31回

審議事項

- ・評議員会及び理事会に付議する事項に関する事
- ・中長期経営計画の立案に関する事
- ・年次事業計画の策定に関する事
- ・新規の個別事業計画に関する事
- ・重要な個別事業及び原則として予算規模1,000万円以上の事業に関する事
- ・重要な規程類に関する事
- ・その他、経営会議が必要と認める事項

構成

- ・代表理事及び業務執行理事

(イ) 内部規程の整備

- ・職員就業規程の改正
- ・職員給与規程の改正
- ・臨時職員就業規程の改正
- ・経理規程の改正
- ・事務決裁規程の改正
- ・公益充実資産積立規程の制定

(3) 不祥事の予防・発見・事後対応の仕組み

ア コンプライアンス委員会

開催

- ・毎月第4水曜日 計12回

内容

- ・財団及び横浜市の事務処理ミス事例報告と再発防止に向けた振り返り及び意見交換
- ・情報セキュリティ・個人情報保護月次研修

構成

- ・事務局長、施設長及びグループ長

イ 公益通報窓口の設置

- ・令和7年4月1日 令和7年度ハラスメント相談窓口及び通報処理窓口について全職員に通知

ウ コンプライアンス研修の実施

- ・セキュリティ研修 月1回
- ・各施設においてコンプライアンス研修 年1回

エ 監査の実施

- ・監事監査 年1回
- ・経理業務の内部監査 年1回
- ・行政監察 年1回

11 運営施設一覧

(1) 運営施設

	施設名	所在地	施設内容
1	横浜美術館	西区みなとみらい 3-4-1	展示室(9室、2,884.9㎡)、市民のアトリエ(515㎡)、子どものアトリエ(507.3㎡)、プロジェクトスペース(116.9㎡)、美術図書室(224.2㎡)、レクチャーホール(240席)、ミュージアムショップ、カフェ
2	横浜みなとみらいホール	西区みなとみらい 2-3-6	大ホール(2,020席)、小ホール(440席) リハーサル室(182㎡)、レセプションルーム(168㎡) 音楽練習室(6室)
3	横浜能楽堂	西区紅葉ヶ丘 27-2	大規模改修工事による休館 [令和6年1月～令和8年6月頃] ※仮拠点: OTABISHO 横浜能楽堂(西区みなとみらい2-2-1ランドマークプラザ5階)
4	横浜にぎわい座	中区野毛町3-110-1	芸能ホール(391席)、小ホール(最大141席) 練習室、制作室、情報コーナー(2階)
5	横浜赤レンガ倉庫1号館	中区新港1-1-1	ホール(最大444席)、多目的スペース(3室)
6	大佛次郎記念館	中区山手町113	展示室(35㎡)、ギャラリー(64㎡)、記念室 閲覧室、サロン、会議室、和室
7	横浜市民ギャラリー	西区宮崎町26-1	展示室(1,146㎡)、アトリエ(148.6㎡)
8	横浜市民ギャラリーあざみ野	青葉区あざみ野南 1-17-3	展示室(610㎡)、アトリエ(142㎡)

(2) 指定管理者の共同事業体の一員として管理運営に参加している施設

	施設名	所在地	施設内容
1	横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場	磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田4F	ホール(310席)、ギャラリー(110㎡) リハーサル室、練習室(3室)、会議室等
2	横浜市緑区民文化センター みどりアートパーク	緑区長津田2-1-3	ホール(334席)、ギャラリー(123㎡) リハーサル室、練習室(3室)、会議室等
3	横浜市吉野町市民プラザ	南区吉野町5-26	多目的ホール(200席)、スタジオ(3室) ギャラリー(140㎡)、会議室等
4	横浜市岩間市民プラザ	保土ケ谷区岩間町 1-7-15	ホール(185席)、スタジオ(4室)、ギャラリー(85㎡) リハーサル室、レクチャールーム等
5	横浜市民文化会館 関内ホール	中区住吉町4-42-1	大ホール(1,038席)、小ホール(264席) リハーサル室(4室)等

12 附属明細書

令和7年度事業実績報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はございません。